

石川県立歴史博物館

年 報

第17号  
平成25・26年度版

## 発行にあたって

当館では、リニューアルに関して、平成 21 年度からリニューアルの準備を開始し、4 月には職員に評価シートを配布してアイデアをまとめました。7 月からは学芸課・資料課・普及課の各課がワーキング会議を開始し、9 月に中間報告を行いました。同時に参考となる県外の博物館などの視察や、県民文化局との意見交換も行いながら内部検討を進めました。平成 22 年度は外部有識者によるリニューアル検討委員会を設置して、4 回の会議を重ね、基本構想（参考資料参照）を策定し、平成 23 年度は基本設計、平成 24 年度は実施設計を行い、平成 25 年 9 月から工事に着工しました。平成 26 年度には全ての改修工事を竣工し、資料の移転も含め全ての作業を終えて、平成 27 年春のリニューアルオープンに備えました。

当館は、平成 25 年 3 月 1 日より休館しましたが、休館中も博物館の平常業務はこれまで通り行い、歴史遺産セミナー・ゼミナール・県民大学などの各種講座も石川県立美術館の一室を借りて開催しました。それと同時に、金沢・加賀・能登地区の各博物館をお借りして移動展を開催し、併せてリニューアルに向けての PR 活動を行いました。まず、平成 25・26 年度では、小松市立博物館、石川県七尾美術館、羽咋市歴史民俗資料館の 3 館で、リニューアルオープンプレ企画展「大名行列がやってきた！」を開催しました。これらの展覧会では、当館コレクションの中核をなす加賀藩関係の優品を公開しました。平成 25 年秋には、プレ企画展「モダン金沢と映画文化」を石川四高記念文化交流館で開催し、金沢の豊かな大衆文化の様相を紹介しました。平成 26 年夏には、プレ企画展「加賀藩お抱え絵師 佐々木泉景」を加賀市美術館で開催し、秀逸なる狩野派の世界を紹介しました。また、展覧会ごとに、多彩なワークショップも併せて行われ参加者からは好評を博しました。今後も「誰もが楽しく学べる博物館」「人にやさしい博物館」をコンセプトに、交流や学びの場として皆様に一層親しまれる施設となるよう、努力を続けていきたいと考えています。

ここに、平成 25・26 年度の年報を発行するにあたり、これまでご協力を賜りました関係各位に感謝申し上げますとともに、今後とも一層のご指導とご協力をお願い申し上げます。

## 目 次

発行にあたって	1	4. 事務分掌	34
リニューアルの概要	2	5. 各種委員会	35
I. 平成 25・26 年度の事業		平成 26 年度	
1. 展示活動	4	1. 職員組織	36
2. 調査研究活動	20	2. 職員名簿	36
3. 資料収集保管活動	22	3. 予算及び決算	36
4. 教育普及活動	28	4. 事務分掌	37
		5. 各種委員会	38
II. 組織と運営		III. 日記（抄）	39
平成 25 年度		IV. 歴史博物館リニューアル基本構想	41
1. 職員組織	33		
2. 職員名簿	33		
3. 予算及び決算	33		

# リニューアルの概要

## 1. リニューアルの基本な考え方

リニューアルでは、3棟からなる建物それぞれの機能を明確にした。第1棟「歴史発見館」は展示棟、第2棟「交流体験館」はフリーゾーン、第3棟の半分には「加賀本多博物館」が入り、残りを歴史博物館の収蔵スペースとした。

第1棟では、これまで分散していた常設展示室を1階に集約し、「石川の歴史と文化」をテーマにした常設の総合展示を展開し、2階にはこれまでの約1.5倍の広さにあたる企画・特別展示室を設けた。

第2棟を中心としたフリーゾーンでは、石川の歴史・文化・観光の魅力や兼六園周辺の文化施設を紹介する「ウェルカムラウンジ」や県民が気楽に活用できるギャラリー、子供から大人まで楽しめる「歴史体験ひろば」などを設けて利用者と博物館とのコミュニケーション機能を高めるとともに、ガラス張りの休憩スペース「ほっとサロン」を増設して憩い空間の充実を図った。

## 2. 基幹工事

平成26年度は、前年度に始まる建築・展示工事の施工を継続し平成27年3月末の竣工を目指した。

### ◇工事施工の委託先と期間

建築工事	岡・和泉特定JV、長坂・ムラジ特定JV	平成25年9月2日～同26年12月18日
電気工事	北陸電設、米沢電気工事、大地電業所	平成25年9月19日～同26年12月18日
空調設備工事	鈴木管工業・テクノブレン特定JV アムズ・北菱設備特定JV、みなみ設備工業	平成25年9月19日～同26年12月18日
給排水工事	松村物産、北陸東和冷暖房、福森設備	平成25年9月20日～同26年12月18日
外壁工事	鈴木建設	平成25年9月9日～同27年2月24日
展示工事	丹青社	平成25年6月28日～同27年3月5日

### ◇事業費

総工費：約22億円（内訳：建築・設備約12億円、展示工事約8億円、外壁改修工事約2億円）

## 3. 展示工事の概要

展示面積が従来と比べて約30%減少したことから、かつての総花的な資料対峙型の手法を改め、時代ごとに見どころを明確にした「シンボル展示」を設けた。また、映像装置・ジオラマ・クイズ装置やハンズオン展示も取り入れながら、来館者が楽しく学べるように努めた。

### ◇壁面ケース

展示ケースの新規組み立ておよび既存ケースの改修工事を平成26年8月に終え、以後、枯らし期間とした。常設展の資料展示は、オープンステージと壁面ケースを基本とし、壁面ケースは自然循環仕様とした。企画展示室は総てエアタイト仕様の壁付けケースとした。特別展示室では東側壁面に新規にエアタイトケースを取り付け、西側壁面は既存の自然循環型ケースを改修して再利用した。

なお、展示室およびケース内の上部照明は、LED（調光型）を採用した。展示室工事終了後、ケース内にパッシブインジケータ（有機酸用・アンモニア用）を設置して空気環境の測定を行い、基準値以下を確認のうえ、その後も東京文化財研究所の指導を得ながら適正な環境維持に努めている。

### ◇映像・音響システム

リニューアルでは、新たに39本の映像ソフトを制作した。常設展示室では、展示室の導入部に大型スクリーンと床面映像を使って石川の歴史を現在から過去に遡るフラッシュ映像を展開し、各時代のシンボル展示には理解を深める映像ソフトを併設した。古代ではジオラマ模型に映像を重ねるミラービジョンの演出を用いて「お

触書」の命令を役人が読み聞かせる様子を再現し、中世では加賀の一向一揆の展開を現地取材に基づいて構成し、近世では加賀藩 11 代藩主の参勤の様子をエピソードとともに展開し、近代では名勝兼六園の歴史と四季の魅力を大型ジオラマと連動させながら紹介した。

民俗では、石川の特徴ある祭り世界を体感してもらうため、大型 3 面スクリーンと音に合わせて振動する床を備え、まるで祭りの場にいるような臨場感を味わうことができるように工夫し、リニューアル展示のハイライトとした。フリーゾーンのミュージアムシアターでは、「城下町金沢を歩く」を制作し、展示室見学の期待感を高めるガイダンス映像とした。

#### ◇模型製作

大型模型 6 件、資料複製 41 件を製作した。製作にあたっては厳密な考証が必要なことから、以下の項目については専門家による監修を依頼し、製作会議を重ねながら実施した。

項目	監修者〔敬称略〕
よみがえる縄文犬	茂原信生（京都大学名誉教授）
堅田館－鎌倉時代の加賀有力武士の館－	小野正敏（国立歴史民俗博物館名誉教授）、富島義幸（京都大学大学院准教授） 向井裕知（金沢市文化財保護課主査）、竹川浩平（元京都大学技術補佐員）
城下町金沢の暮らしと町並み	山崎幹泰（金沢工業大学准教授）、橋本浩司（橋本建築造園設計代表） 安達 實（金沢工業大学客員教授）
ロシア兵捕虜の食事	東四柳祥子（梅花女子大学准教授）
兼六園ジオラマ	丸山隆史（石川県土木部次長）、石川県金沢城・兼六園管理事務所分室
昭和の茶の間	照田繁隆（石川県建築住宅センター理事長）

#### ◇グラフィック

パネル・キャプションは、コーナー名称パネル・大項目パネル・個別解説パネル（ライン解説）・資料キャプションで構成した。コーナーパネルは、時代変化を示す指標となる 50 字程度のリード文とイメージ画像で表現し、タイトルのみ日本語のほかに英語・中国語簡体字・中国語繁体字・韓国語で表記した。

大項目パネルは、180 字程度の解説にイメージ画像と年表を添え、タイトル・解説文ともに上記の多言語で表記とした。個別解説では 150 字程度の解説のほかに、理解を深める写真・図表などを加えた。資料キャプションは、タイトル（資料名）のみ英文表記を添えた。その他、ユニバーサル対応として、多言語による音声ガイドを備え付けた。

#### ◇ウェルカムラウンジ

新しく設けたフリーゾーンの入口を「ウェルカムラウンジ」と名付け、総合案内・発券・ミュージアムショップのほか、重要文化財である本館の赤レンガ建物の価値と魅力を紹介する「建物 100 年ギャラリー」、兼六園周辺文化施設の情報や見どころを紹介する「兼六園周辺文化の森模型」、石川の名所旧跡を吉田初三郎の鳥瞰図で紹介する「石川大パノラマ」、石川の豆知識をクイズ方式で楽しむ「もっと知りたい石川クイズ」、スクリーンに映し出された画像に自分の顔を合成して記念写真を撮る「なりきりショット」などのコーナーを設けた。

#### ◇歴史体験ひろば

「歴史体験ひろば」では、甲冑や十二単などが試着できる「へんしんクローゼット」をはじめとして様々な実物・模型資料を活用したハンズオン展示を展開している。それらは、主として児童を対象としたものであるが、新たな試みとして、ボア素材を用いた「はにわボウリング」などの遊具を取り揃えた「ひよこのひろば」を設け、未就学児も楽しく安全に遊ぶことができるようにした。

## 4. リニューアル関連イベント

グランドオープンにさきがけ、新博物館のメイキング風景やみどころを紹介する PR パネル展を以下の通り開催した。

- ① 期間：平成 26 年 9 月 9 日～ 9 月 15 日 場所：しいのき迎賓館 1 階しいのきプラザ
- ② 期間：平成 26 年 10 月 20 日～10 月 30 日 場所：石川県庁 19 階展望ロビー

平成 26 年 4 月 28 日～ 6 月 10 日にかけて、リニューアルを機に重要文化財の赤レンガ建物を総称する愛称を募集した。翌 27 年 1 月 29 日に愛称検討委員会を開催し、応募件数 2908 件の中から「いしかわ赤レンガミュージアム」に決定した。

# I. 平成 25・26 年度の事業

## 1. 展示活動

### 企画展

平成 25 年度

リニューアルオープンプレ企画展  
大名行列がやってきた！－優品にみる加賀藩－

リニューアルオープンに向けたプレ企画として小松市立博物館で開催した展覧会。武具や参勤交代関係資料を中心に武士の社会を表現するとともに、美術工芸品や科学技術資料など、当館のコレクションの中心をなす加賀藩関係資料を展示しました。

あわせて開催地・小松の歴史と風土について、絵図・絵画資料を中心に紹介しました。



チラシ

会 期 平成 25 年 7 月 20 日（土）～8 月 25 日（日）【37 日間】

会 場 小松市立博物館（石川県小松市丸の内公園町 19 番地）

主 催 石川県立歴史博物館・小松市立博物館

開館時間 9:00～17:00（入館は 16:30 まで）

休 館 日 毎週月曜日

入 館 料 一般 500 円 高校生以下 無料

\*一般料金はこまつミュージアムパスポート利用

展示構成 太平の世と武士／華ひらく技と美／からくりと科学技術／小松の歴史と風土

展 示 品 出品資料一覧のとおり

催 物

#### 講演会

日 時：8 月 10 日（土）14:00～15:30

演 題：「金平鉦山と十村石黒家」

講 師：見瀬 和雄氏（金沢学院大学教授）

会 場：小松市立博物館 1 階

市民ギャラリー「ルフレ」

聴講者：96 名

#### 週末ワークショップ「たいけん！はっけん！江戸時代」

日 時：会期中の土・日曜日

①へんしんコーナー（衣装体験）

さむらい・お姫さま・江戸時代の旅人

②からくりコーナー（からくり人形の実演）

茶運び人形・段返り人形

（1 日 3 回 10:00～／14:00～／15:00～）

#### れきはく学芸員によるギャラリートーク①

日 時：7 月 28 日（日）14:00～15:00

テーマ：「お殿さま、旅をする！」（親子向け）

講 師：当館学芸員

参加者：25 名

#### クイズラリー

展示品に関するクイズに挑戦

（正解者には特製シール贈呈）

#### れきはく学芸員によるギャラリートーク②

日 時：8 月 11 日（日）14:00～15:00

テーマ：「加賀藩の歴史と文化」（一般向け）

講 師：当館学芸員

参加者：17 名

#### リニューアルPRコーナー

当館のリニューアルについてパネルとCG映像で紹介



展示風景



展示風景



展示風景



記念講演会



ギャラリートーク



へんしんコーナー



からくりコーナー



リニューアルPRコーナー

## 出品資料一覧

□=石川県指定文化財

※全て館蔵資料

No.	資料名	点数	年代
<b>ブローグー城下町の獅子飾り</b>			
1	五宝町の獅子具	一式	安政4(1857)年
<b>1. 太平の世と武士</b>			
2	加州能州越中絵図	1	江戸時代(18~19世紀)
3	加賀藩出世双六	1	江戸時代(18~19世紀)
4	白糸威二枚胴具足	1	江戸時代(17~18世紀)
5	長家伝来糸巻太刀拵	1	江戸時代(19世紀)
□6	金采配	1	江戸時代(17世紀)
□7	軍扇	1	江戸時代(17世紀)
8	浅井暁戦場図屏風	六曲一隻	享和3(1803)年
9	丹羽長重判物	1	慶長3(1598)年9月24日
10	丹羽長重判物	1	慶長5(1600)年8月3日
11	金沢城中総絵図	1	江戸時代(18世紀前半)
12	金沢城二ノ丸絵図	1	江戸時代(19世紀)
13	前田宗辰画像	1	江戸時代(18世紀)
14	加賀藩大名行列図屏風	八曲一双	昭和初期(1940年頃)
15	金沢江戸道中絵図	1	江戸時代(18~19世紀)
16	江戸より金沢上道中絵図	1	安政5(1858)年
17	柳営儀式図絵	1	弘化3(1846)年
18	加賀藩本郷邸泥絵	1	江戸時代(19世紀)
<b>2. 華ひらく技と美</b>			
19	黒漆桐梅鉢文蒔絵小箆筒	1	江戸時代(17~18世紀)
20	黒漆剣梅鉢雪輪文蒔絵紙台	1	江戸時代(19世紀)
21	色絵花鳥図軸盆	1	江戸時代(19世紀)
22	御典医御鍼箱	3	江戸時代(17世紀)
23	秋草図蒔絵印籠	1	江戸時代(19世紀)
24	黒漆素彫高士吹笙図印籠	1	文化9(1812)年
25	桜花に流水図象嵌鏡	1	江戸時代(18~19世紀)
26	紫絹地紋付苦屋江戸解文様染繡小袖	1	江戸時代(19世紀)
27	福祿寿に紅白梅図	三幅対	寛政3(1791)年頃
28	松に双鶴図	1	江戸時代(18~19世紀)
29	兼六園・巽御殿絵図	2	文久3(1863)年
<b>3. からくりと科学技術</b>			
30	一東視窮録(複製)	1	江戸時代(19世紀)
31	飛び蛙	1	江戸時代(19世紀)
32	盃台	1	江戸時代(19世紀)
33	からくり三番叟人形(複製)	1	江戸時代(19世紀)
34	エレキテル	1	江戸時代(19世紀)
35	無尽灯	1	江戸時代(19世紀)
36	量程器	1	江戸時代(19世紀)
37	里数計	1	江戸時代(19世紀)
38	測量器	1	江戸時代(19世紀)
39	からくり段がえり人形	1	江戸時代(19世紀)
<b>4. 小松の歴史と風土</b>			
□40	加州金平鉾山図	1	天明8(1788)年
□41	民家検労図	3	江戸時代(19世紀)
42	能美郡絵図	1	江戸時代
43	小松御城下之図	1	江戸時代
44	安宅付近略図	1	江戸時代
45	木場瀉付近図	1	江戸時代
46	小松城絵図	1	江戸時代
47	流聞軒其方狂歌絵日記	4	安永年間(1772~1781年頃)

リニューアルオープンプレ企画展  
大名行列がやってきた！－優品にみる加賀藩－

リニューアルオープンに向けたプレ企画として石川県七尾美術館で開催した展覧会。武具や参勤交代関係資料を中心に武士の社会を表現するとともに、美術工芸品や絵画など当館のコレクションの中心をなす加賀藩関係資料を展示しました。

また七尾での開催にあわせ、「能登国採魚図絵」「能州矢田村金山図」など、能登の風土やくらしを表した絵画資料を特別に公開しました。



チラシ

**会 期** 平成 25 年 9 月 21 日 (土) ～ 10 月 27 日 (日) 【37 日間】  
**会 場** 石川県七尾美術館 (石川県七尾市小丸山台 1-1) 第 2 展示室  
**主 催** 石川県立歴史博物館・七尾市・公益財団法人七尾美術館  
**開館時間** 9:00～17:00 (入館は 16:30 まで)  
**休 館 日** 毎週月曜日 (祝日を除く) および 9 月 24 日 (火)、10 月 15 日 (火)  
**入 館 料** 一般 350 (280) 円 大高生 280 (220) 円 ※ ( ) は 20 名以上の団体料金  
 中学生以下無料  
**展示構成** 太平の世と武士／華ひらく技と美／景勝とくらし  
**展 示 品** 出品資料一覧のとおり  
**催 物**

**講演会**

日 時：10 月 5 日 (土) 14:00～15:30  
 演 題：「前田利家と能登七尾」  
 講 師：瀬戸 薫氏(富山高等専門学校教授)  
 会 場：七尾美術館 アートホール  
 聴講者：40 名

**週末ワークショップ「たいけん！はっけん！江戸時代」**

日 時：会期中の土・日・祝日 10:00～16:00  
 ①へんしんコーナー (衣装体験)  
 さむらい・お姫さま・江戸時代の旅人  
 ②からくりコーナー (からくり人形の実演)  
 茶運び人形・段返り人形

**れきはく学芸員によるギャラリートーク**

日 時：10 月 19 日 (土) 14:00～15:00  
 講 師：当館学芸員  
 参加者：24 名

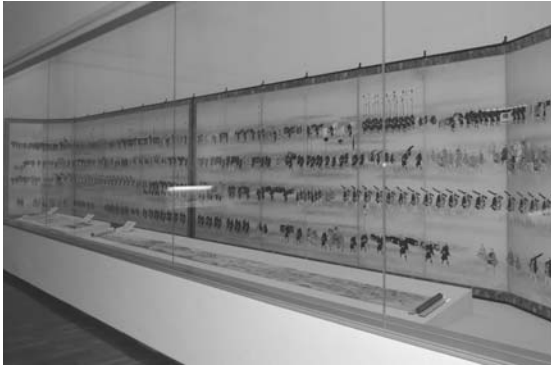
**クイズラリー**

展示品に関するクイズに挑戦  
 (正解者には特製シール贈呈)

**リニューアルPRコーナー**

当館のリニューアルについてパネルとCG映像で紹介





展示風景



展示風景



展示風景



クイズラリー



講演会



ギャラリートーク



へんしんコーナー



リニューアルPRコーナー

## 出品資料一覧

□=石川県指定文化財

※全て館蔵資料

No.	資料名	点数	年代
<b>ブローグー前田家と能登</b>			
□1	前田利家朱印状	1	天正 19 (1591) 年 5 月 24 日
□2	前田安勝黒印状	1	天正 20 (1592) 年 2 月 18 日
□3	前田利政書状	1	桃山時代 (16 世紀末)
<b>1. 太平の世と武士</b>			
4	白糸威二枚胴具足	1	江戸時代 (17~18 世紀)
5	浅葱糸威五枚胴具足	1	江戸時代 (19 世紀)
6	長家伝来糸巻太刀拵	1	江戸時代 (19 世紀)
□7	金采配	1	江戸時代 (17 世紀)
□8	軍扇	1	江戸時代 (17 世紀)
9	金沢江戸道中絵図	1	江戸時代 (18~19 世紀)
10	加賀藩大名行列図屏風	八曲一双	昭和初期
11	柳営儀式図絵	1	弘化 3 (1846) 年
12	加賀藩本郷邸泥絵	1	江戸時代 (19 世紀)
□13	小塚内匠助画像	1	江戸時代 (18 世紀)
<b>2. 華ひらく技と美</b>			
14	黒漆桐梅鉢文蒔絵小箆筒	1	江戸時代 (17~18 世紀)
15	黒漆剣梅鉢雪輪文蒔絵紙台	1	江戸時代 (19 世紀)
16	御典医御鍼箱	3	江戸時代 (17 世紀)
17	秋草図蒔絵印籠	1	江戸時代 (19 世紀)
18	黒漆素彫高士吹笙図印籠	1	文化 9 (1812) 年
19	桜花に流水図象嵌鏡	1	江戸時代 (18~19 世紀)
20	紫曙染縮緬地燕網干文様染繡打掛	1	江戸時代 (19 世紀)
21	福祿寿に紅白梅図	三幅対	寛政 3 (1791) 年頃
22	松に双鶴図	1	江戸時代 (18~19 世紀)
23	兼六園・巽御殿絵図	2	文久 3 (1863) 年
24	一東視窮録 (複製)	1	江戸時代 (19 世紀)
25	からくり飛び蛙	1	江戸時代 (19 世紀)
26	盃台	1	江戸時代 (19 世紀)
27	エレキテル	1	江戸時代 (19 世紀)
28	無尽灯	1	江戸時代 (19 世紀)
29	量程器	1	江戸時代 (19 世紀)
30	里数計	1	江戸時代 (19 世紀)
31	からくり段がえり人形	1	江戸時代 (19 世紀)
<b>3. 景勝とくらし</b>			
32	能登国全図	1	江戸時代 (19 世紀)
□33	能登国採魚図絵	1	天保 9 (1838) 年
□34	民家検労図	3	江戸時代 (19 世紀)
35	能登名跡図	1	江戸時代
36	能登内浦道筋絵図	2	江戸時代
□37	能州矢田村金山図 (加州金平鉢山図 部分)	1	天明 8 (1788) 年
38	諸国六十八景「能登福浦湊」	1	文久 2 (1862) 年
39	六十余州名所図会「能登瀧之浦」	1	江戸時代
40	六十余州名所図会「加賀金澤八勝之内蓮湖之漁火」	1	嘉永 6 (1853) 年

リニューアルオープン プレ企画展  
「モダン金沢と映画文化」

本展では、モダンな時代の到来を象徴する蓄音機やラジオなど、大正から昭和前期の人々にとって娯楽の中心であった道具や、戦前・戦中の演劇や映画のポスターをはじめ、チラシ、関連雑誌、金沢の映画館の古写真など、豊かな大衆文化の様相を紹介しました。



チラシ

- 会 期** 平成 25 年 11 月 30 日 (土) ~ 12 月 23 日 (月・祝) 【24 日間】 ※会期中無休  
**会 場** 石川四高記念文化交流館内 石川近代文学館 2 階企画展示室 (石川県金沢市広坂 2 - 2 - 5)  
**主 催** 石川県立歴史博物館・石川四高記念文化交流館  
**開館時間** 9:00~17:00 (入館は 16:30 まで)  
**入 館 料** 一般 350 円 (280 円) 大学生 280 円 (220 円) 高校生以下無料  
 ※ ( ) は 20 名以上の団体料金  
**展示構成** モダンライフの到来 娯楽の王様 キネマ 新興演劇の時代 映画の街 金沢

**催 物**

**ギャラリートーク①**

日 時 : 11 月 30 日 (土) 13:30~14:00  
 講 師 : 石川県立歴史博物館 学芸員  
 参加者 : 30 名

**ギャラリートーク②**

日 時 : 12 月 14 日 (土) 13:30~14:00  
 講 師 : 本康 宏史 氏  
 [金沢星稜大学 経済学部経済学科教授]  
 参加者 : 20 名

**リニューアルPRコーナー**

当館のリニューアルについてパネルとCG映像で紹介



展示風景



ギャラリートーク

出品資料一覧

※全て館蔵資料

番号	資料名	員数	年代
<b>①モダンライフの到来</b>			
1	ラップ式蓄音機	1	大正期
2	鉱石ラジオ	1	大正末期
3	蛇腹式写真機	1	昭和前期
4	電話機	1	大正13年(1924)
5	扇風機	1	明治後期
6	手動式映写機	1	大正13年(1924)頃
7	同上 販促ポスター (パネル)	1	
8	テレフォンケントライツマイクロホン (昭和5年、JOJK金沢放送局のマイクロホン)	1	昭和初期
9	ラップ型スピーカ付ラジオ BOSCH社製	1	昭和初期
10	サンダー (MODEL343)ラジオ	1	昭和10年(1935)
11	七尾第1号のラジオ (写真パネル)	1	昭和5年(1930)
12	電話番号簿	1	昭和4年(1929)
13	婦人洋服着用率 (パネル)	1	
14	旧加能合同銀行本店 (写真パネル)	1	
15	旧三田商店 (写真パネル)	1	
16	金沢南町郵便局 (写真パネル)	1	大正期
17	欧米雑貨商ノキ商会 (写真パネル)	1	大正期
18	ノキ商会 (写真パネル)	1	昭和初期
19	香林坊交差点 (写真パネル)	1	昭和9年(1934)
20	カフェー 赤玉の雑誌広告 (パネル)	1	昭和前期
21	カフェー 銀座会館の雑誌広告 (パネル)	2	昭和前期
22	カフェー ドラゴンの雑誌広告 (パネル)	1	昭和前期
23	喫茶店 サロン・モナミの雑誌広告 (パネル)	1	昭和前期
24	粟ヶ崎遊園の雑誌広告 (パネル)	1	昭和前期
25	金沢商店記念双六	1	大正13年(1924)
26	金沢市街地図	1	昭和前期
27	JOAKラジオ放送開局ポスター	1	大正14年(1925)
28	もっと美しい金沢にしませう美化運動	1	昭和前期
29	第10回北陸写真サロン 会場宮市大丸	1	昭和前期
30	資生堂石鹸新秋サービス	1	昭和前期
31	資生堂コールドクリーム	1	昭和前期
32	村松商店ポスター	1	昭和前期(昭和3年以後)
33	大衆写真雑誌 カメラクラブ	1	昭和14年(1939)6月号
34	モナミお勘定書き映画チラシ モロッコ、風の中の子供	2	昭和12年(1937)
35	モナミ珈琲店お勘定書き映画チラシ 国民の誓、純情夫人	2	昭和13年(1938)
36	モナミ珈琲店お勘定書き映画チラシ 愛より愛へ、黒田誠忠録	2	昭和13年(1938)
37	映画雑誌 キネマ旬報	4	大正15~昭和14年
38	雑誌 モダン金沢	8	昭和前期
39	産業と観光の大博覧会 宣伝入り 年賀はがき	1	昭和7年(1932)
40	産業と観光の大博覧会 絵葉書 スタンプ付き	15	昭和7年(1932)
41	産業と観光の大博覧会 絵葉書	10	昭和7年(1932)
42	産業と観光の大博覧会 絵葉書 外袋	1	昭和7年(1932)
43	産業と観光の大博覧会 チラン	4	昭和7年(1932)
44	産業と観光の大博覧会 宣伝用葉書	7	昭和7年(1932)
45	産業と観光の大博覧会 北陸遊覧案内パンフレット	1	昭和7年(1932)
46	金沢特産品及び名所旧跡案内パンフレット	1	昭和12年
47	雑誌 観光の金沢	1	昭和10年
48	北陸の産業と温泉	1	昭和7年3月
49	金沢新風景	1	昭和8年8月
50	大金沢繁昌記	1	昭和10年10月
51	金沢電車案内	1	大正8年9月
<b>②娯楽の王様 キネマ</b>			
52	支那の夜 ポスター	1	昭和15年(1940)
53	君と僕 ポスター	1	昭和16年(1941)
54	高山國スキス ポスター	1	昭和16年(1941)
55	元禄忠臣蔵 前篇ポスター	1	昭和17年(1942)
56	鳥居強右エ門 ポスター	1	昭和17年(1942)
57	勝利への輸送 ポスター	1	昭和18年(1943)
58	週報 日映海外ニュース ポスター	1	昭和15年(1940)
59	陸軍 ポスター	1	昭和19年(1944)
60	続愛染かつら ポスター	1	昭和13年(1938)
61	愛染かつら 完結篇 ポスター	1	昭和14年(1939)
62	女だけの気持ち ポスター	1	昭和15年(1940)
63	ムーランルージュ、隼六剣士	1	昭和3年(1928)
64	チャップリンのサーカス ほか	1	昭和3年(1928)
65	暗夜のパノラマ、キートンの大学生 ほか	1	昭和3年(1928)
66	ベン・ハー ほか	1	昭和3年(1928)
67	東洋の秘密 ほか	1	昭和4年(1929)
68	西部戦線異状なし ほか	1	昭和5年(1930)
69	トムソーヤの冒険 ほか	1	昭和6年(1931)
70	インチキ商売 ほか	1	昭和7年(1932)
71	進めオリムピック ほか	1	昭和7年(1932)頃

番号	資料名	員数	年代
72	制服の処女、お蝶夫人 ほか	1	昭和8年(1933)
73	新版キングコング コングの復讐、流線型超特急 ほか	1	昭和9年(1934)
74	新婚旅行 ほか	1	昭和9年(1934)
75	チャップリンの特急時代 ほか	1	昭和11年(1936)
76	大学よいとこ ほか	1	昭和11年(1936)
77	ひやめしお旦那 ほか	1	昭和11年(1936)
78	娘よ何故さからふ ほか	1	昭和12年(1937)
79	新しき土、平原児	1	昭和12年(1937)
80	浅草の灯 ほか	1	昭和12年(1937)
81	敵国降伏、支那事変特報 ほか	1	昭和12年(1937)
82	続愛染かつら ほか	1	昭和13年(1938)
83	紀元二千六百年大船記念映画 女性の覚悟	1	昭和15年(1940)
84	輝く日本 ほか	1	昭和16年(1941)
85	興亜映画新制第一回作品 元禄忠臣蔵	1	昭和16年(1941)
86	完成迫る!元禄忠臣蔵	1	昭和16年(1941)
87	鳥居強右エ門	1	昭和17年(1942)
88	サヨンの鐘	2	昭和18年(1943)
89	宣伝用案内状 サヨンの鐘に出演して	1	昭和18年(1943)
90	くもとちゅうりっぷ	1	昭和18年(1943)
91	長篇漫画 フクチャンの潜水艦	1	昭和19年(1944)
92	西住戦車長伝 特別大試写会プログラム(皇紀2600年)	1	昭和15年(1940)
93	THE SHOCHIKU NEWS NO 99	1	大正13年2月(1924)
94	THE SHOCHIKU NEWS NO 112	1	大正13年4月(1924)
95	松竹座ニュース NO.567	1	昭和6年10月(1931)
96	松竹座ニュース NO.593	1	昭和7年4月(1932)
97	松竹座ニュース NO.1035	1	昭和13年4月(1938)
98	松竹座ニュース NO.1036	1	昭和13年4月(1938)
99	プロマイド(大正期のもの30枚)	30	大正期
100	映画関係新聞記事スクラップ	4	昭和前期
101	一銭フィルムブック	1	昭和前期
102	松竹映画宣伝資料(プレスシート、社標、チラシのデザイン画、印刷原版)	一括	昭和前期
<b>③新興演劇の時代</b>			
103	オアシス童話劇団「クリスマス・イヴ」	1	昭和7年(1932)
104	京都近代劇場「殴られる彼奴」	1	昭和5年(1930)頃
105	日本楽劇協会 金曜会公演 メエスフィイルド原作「忠臣蔵」 日比谷公会堂	1	昭和8年(1933)頃
106	北陸新協第3回公演「実社会第一年」、「同志の人々」	1	昭和11年(1936)
107	北陸新劇協会創立公演「朝日商会」、「玄朴と長英」	1	昭和10年(1935)
108	新興劇団のうつりかわり(パネル)	1	
109	世紀座上演脚本 武者小路実篤作 愛慾 四幕	1	昭和4年(1929)
110	世紀座上演脚本 ユウジン・オニール作 皇帝ジョウンズ 八場	1	昭和4年(1929)
111	世紀座上演脚本 阪中政夫作 移民 三幕	1	昭和5年(1930)
112	世紀座上演脚本 北村寿夫作 怪しい貨物船 三幕五場	1	昭和5年(1930)
113	世紀座舞台装置プラン 第四回公演 ドゥオモン	1	昭和6年(1931)
114	世紀座公演プログラム1~5回	5	昭和前期
115	世紀座公演入場券	7	昭和前期
116	世紀座記録	1	昭和3年~昭和6年
117	北陸新劇協会I 創立公演パンフレット	1	昭和10年(1935)
118	北陸新劇協会 第6回公演上演台本 転々長英	1	昭和10年(1935)
119	北陸新劇協会台本 田口竹男作 酒屋 一幕	1	昭和11年(1936)
120	北陸新劇協会舞台装置プラン 同志の人々 二幕	1	昭和11年(1936)
121	東宝舞踊隊 仏印公演記念帖 1冊	1	昭和17年(1942)
122	栗ヶ崎遊園春のをどり	1	昭和10年(1935)頃
123	栗ヶ崎遊園秋のをどり	1	昭和10年(1935)頃
124	栗ヶ崎の海水浴	1	昭和前期
125	栗ヶ崎大衆座台本 碧響汀人作 國史劇 櫻井の驛	1	昭和3年(1928)
126	栗ヶ崎遊園レビュー女優プロマイド	4	昭和前期
127	浅野川電車沿線案内パンフレット	1	昭和前期
128	栗ヶ崎遊園絵葉書	8	昭和前期
<b>④映画の街 金沢</b>			
129	昭和劇場凶面 1冊綴り	1	昭和前期
130	昭和劇場記念写真(古写真)	1	昭和13年(1938)頃
131	昭和劇場内のにぎわい(古写真)	1	昭和前期
132	ムサン劇場(古写真)	1	昭和戦後期(昭和30年代)
133	松竹座(古写真)	2	昭和戦後期(昭和30年代)
134	立花座(古写真)	1	昭和戦後期(昭和30年代)
135	文化劇場(古写真)	1	昭和戦後期(昭和30年代)
136	スメル館(古写真)	1	昭和戦後期(昭和30年代)
137	金沢大映(古写真)	1	昭和戦後期(昭和30年代)
138	スタア劇場(古写真)	1	昭和戦後期(昭和30年代)
139	北国第一劇場(古写真)	1	昭和戦後期(昭和30年代)
140	ムービーダイワ(古写真)	1	昭和戦後期(昭和30年代)
141	丸越劇場(古写真)	1	昭和戦後期(昭和30年代)
142	テアトル東映(古写真)	1	昭和戦後期(昭和30年代)
143	金沢劇場(古写真)	1	昭和戦後期(昭和30年代)

平成 26 年度

リニューアルオープンプレ企画展  
大名行列がやってきた！－加賀藩の歴史と美術－

リニューアルオープンに向けたプレ企画として羽咋市歴史民俗資料館で開催した展覧会。武具や参勤交代関係の資料を中心に、加賀藩の武士の社会を表現するとともに、技法・意匠に優れた美術工芸品や、からくり人形に代表される科学技術資料など、当館のコレクションの中心をなす展示品を一堂に集めました。

また羽咋での開催にあわせ、能登ゆかりの絵師である山崎雲山と池野観了の作品や、本州最後のトキ「能里」の剥製などを特別に公開しました。



チラシ

会 期 平成 26 年 4 月 26 日 (土) ～5 月 25 日 (日) 【30 日間】 ※会期中無休  
 会 場 羽咋市歴史民俗資料館 (石川県羽咋市鶴多町鶴多田 3 8 番地 1)  
 主 催 石川県立歴史博物館・羽咋市歴史民俗資料館  
 開館時間 9:30～17:00 (入館は 16:30 まで)  
 入 館 料 無料  
 展示構成 太平の世と武士／華ひらく技と美 [特集展示：郷土の絵師・雲山と観了]  
 からくりと科学技術／郷土の風景  
 特別展示 本州最後のトキ「能里」剥製  
 展示期間：5 月 10 日 (土) ～5 月 18 日 (日)  
 展 示 品 出品資料一覧のとおり  
 催 物

講演会

日 時：4 月 26 日 (土) 14:00～15:30  
 演 題：「妙成寺ゆかりの加賀藩の女性たち」  
 講 師：横山 方子氏 (石川郷土史学会幹事)  
 会 場：羽咋市歴史民俗資料館 1 階研修室  
 参加者：74 名

週末ワークショップ「たいけん！はっけん！江戸時代」

日 時：会期中の土・日・祝日 10:00～15:00  
 ①へんしんコーナー (衣装体験)  
 さむらい・お姫さま・江戸時代の旅人  
 ②からくりコーナー (からくり人形の実演)  
 茶運び人形・段返り人形

れきはく学芸員によるギャラリートーク

日 時：5 月 10 日 (土) 14:00～15:00  
 講 師：当館学芸員  
 参加者：25 名

クイズラリー

展示品に関するクイズに挑戦  
 (正解者には特製シール贈呈)

リニューアルPRコーナー

当館のリニューアルについてパネルとCG映像で紹介



展示風景



展示風景



展示風景



展示風景



「能里」剥製展示



講演会



ギャラリートーク



ワークショップ・PRコーナー

## 出品資料一覧

□=石川県指定文化財

※所蔵の記載が無いものは全て本館蔵

No.	資料名	点数	年代	所蔵
<b>プロローグ—古文書にみる末森合戦</b>				
1	前田利家感状	1	天正 12 (1584) 年 9 月 16 日	
2	前田利家領知目録	1	天正 12 (1584) 年 10 月 12 日	
3	末森記写	1	江戸時代	
4	末森之城木圖写	1	江戸時代 (18 世紀)	
<b>1. 太平の世と武士</b>				
5	加州能州越中絵図	1	江戸時代(18~19 世紀)	
6	加賀藩出世双六	1	江戸時代 (18~19 世紀)	
□7	紫紺糸威二枚胴具足	1	江戸時代 (17 世紀)	
□8	日の丸陣羽織	1	江戸時代 (17 世紀)	
□9	金采配	1	江戸時代 (17 世紀)	
□10	軍扇	1	江戸時代 (17 世紀)	
11	長家伝来糸巻太刀拵	1	江戸時代 (19 世紀)	
12	前田利家桶狭間凱旋図	1	江戸時代 (18~19 世紀)	
13	金沢城中総絵図	1	江戸時代 (18 世紀前半)	
14	加賀藩大名行列図屏風	八曲一双	昭和初期 (1940 年頃)	
15	金沢江戸道中絵図	1	江戸時代 (18~19 世紀)	
16	新板加州金沢道中案内記	1	江戸時代 (19 世紀)	
17	加賀様御行列附	1	江戸時代	
18	柳營儀式図絵	1	弘化 3 (1846) 年	
19	加賀藩本郷邸泥絵	1	江戸時代 (19 世紀)	
<b>2. 華ひらく技と美</b>				
20	黒漆桐梅鉢文蒔絵小箆筒	1	江戸時代 (17~18 世紀)	
21	黒漆剣梅鉢雪輪文蒔絵紙台	1	江戸時代 (19 世紀)	
22	螺鈿細工硯箱文台	2	江戸時代 (19 世紀)	
23	御典医御鍼箱	3	江戸時代 (17 世紀)	
24	秋草図蒔絵印籠	1	江戸時代 (19 世紀)	
25	黒漆素彫高土吹笙図印籠	1	文化 9 (1812) 年	
26	桜花に流水図象嵌鍔	1	江戸時代 (18~19 世紀)	
27	白麻地小梅文様染繡帷子	1	江戸時代 (19 世紀)	
28	福祿寿に紅白梅図	三幅対	寛政 3 (1791) 年頃	
29	松に双鶴図	1	江戸時代 (18~19 世紀)	
30	兼六園・巽御殿絵図	2	文久 3 (1863) 年	
<b>特集展示—郷土の絵師 雲山と親了</b>				
31	山水図 (山崎雲山筆)	1	江戸時代	
32	竹裡弾琴図 (山崎雲山筆)	1	江戸時代	
33	虎図 (池野親了筆)	1	江戸時代	
34	瀟湘八景図屏風 (池野親了筆)	十曲一隻	江戸時代	
35	山水図 (山崎雲山筆)	1	江戸時代	羽咋市歴史民俗資料館蔵
36	山水図 (山崎雲山筆)	1	江戸時代	羽咋市歴史民俗資料館蔵
37	竹に水仙図 (山崎雲山筆)	1	江戸時代	羽咋市歴史民俗資料館蔵
38	山水図 (池野親了筆)	1	江戸時代	羽咋市歴史民俗資料館蔵
<b>3. からくりと科学技術</b>				
39	飛び蛙	1	江戸時代 (19 世紀)	
40	盃台	1	江戸時代 (19 世紀)	
41	からくり三番叟人形 (複製)	1	江戸時代 (19 世紀)	
42	エレキテル	1	江戸時代 (19 世紀)	
43	無尽灯	1	江戸時代 (19 世紀)	
44	量程器	1	江戸時代 (19 世紀)	
45	里数計	1	江戸時代 (19 世紀)	
46	からくり段がえり人形	1	江戸時代 (19 世紀)	
<b>4. 郷土の風景</b>				
47	能登名跡図	1	江戸時代 (19 世紀)	
48	能登外浦海岸風景図	1	江戸時代	
49	加賀藩領内絵巻	1	文政 8 (1825) 年	
50	諸国六十八景「能登福浦湊」	1	文久 2 (1862) 年	
51	六十余州名所図会「能登瀧之浦」	1	江戸時代 (19 世紀)	
52	六十余州名所図会「加賀金澤八勝之内蓮湖之漁火」	1	嘉永 6 (1853) 年	
53	諸国六十八景「加賀白やま」	1	文久 2 (1862) 年	
54	夷曲歌集百人一首 (金沢八景図)	1	天保 11 (1840) 年	
55	加賀金沢八景図屏風	1	江戸時代	
<b>特別展示—本州最後のトキ「能里」</b>				
56	トキ剥製 (愛称「能里」)	1	昭和 40 年代	



リニューアルオープン プレ企画展  
「加賀藩お抱え絵師 佐々木泉景」

リニューアルオープンに向けたプレ企画として加賀市美術館で開催した展覧会。江戸時代後期に活躍した加賀市大聖寺出身の加賀藩お抱え絵師・佐々木泉景にスポットを当て、その一門を紹介しました。

当館の所蔵品に加え、加賀市実性院所蔵の「群鹿図屏風」や、同市全昌寺・願成寺所蔵の屏風絵の大作、同市菅生神社・大原神社所蔵の絵馬、加賀市美術館所蔵の下絵類、個人の方が秘蔵する作品などが一堂に会しました。



チラシ

**会 期** 平成 26 年 7 月 26 日 (土) ~ 8 月 31 日 (日) 【37 日間】  
前期 7 月 26 日 (土) ~ 8 月 11 日 (月) / 後期 8 月 13 日 (水) ~ 8 月 31 日 (日)  
※前期・後期で一部資料の展示替えを行った。

**休 館 日** 火曜日

**会 場** 加賀市美術館 (加賀市作見町 1 番地 4)

**主 催** 石川県立歴史博物館・加賀市・加賀市教育委員会

**開館時間** 10:00~18:00 (入館は 17:30 まで)

**入 館 料** 一般 400 (300) 円 75 歳以上 200 円 高校生以下無料

※ ( ) 内は 20 名以上の団体料金無料

**展示構成** 佐々木泉景の画業 / 泉景の一門

**展 示 品** 出品資料一覧のとおり

**催 物**

**講演会**

日 時 : 8 月 2 日 (土) 14:00~15:30

演 題 : 「佐々木泉景とその一門の画業」

講 師 : 北 春千代 (当館学芸主幹)

会 場 : 加賀市美術館 ロビー

参加者 : 70 名

**ギャラリートーク②**

日 時 : 8 月 23 日 (土) 14:00~

講 師 : 加賀市美術館学芸員

参加者 : 10 名

**ギャラリートーク①**

日 時 : 8 月 9 日 (土) 14:00~

講 師 : 当館学芸員

参加者 : 17 名

**リニューアルPRコーナー**

当館のリニューアルについてパネルとCG映像で紹介



展示室入口



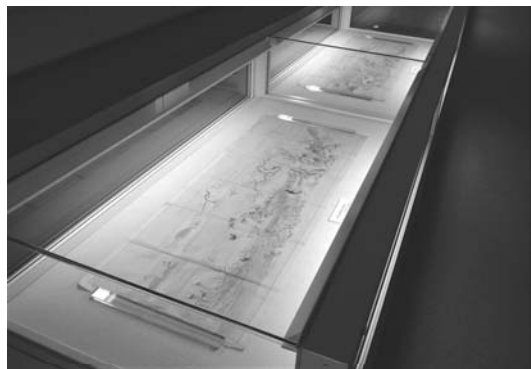
展示風景



展示風景



展示風景



展示風景



講演会



ギャラリートーク①



ギャラリートーク②

## 出品資料一覧

※所蔵者名の無いものは全て本館蔵

No.	資料名	数量	作者	時代	所蔵者	展示期間
<b>1. 佐々木泉景の画業</b>						
1	群鹿図屏風(加賀市指定文化財)	六曲一双	佐々木泉景	江戸(19世紀)	実性院	全期間
2	瀟湘八景図屏風	六曲一双	佐々木泉景	江戸(19世紀)	全昌寺	前期
3	六歌仙図屏風	六曲一双	佐々木泉景	江戸(19世紀)	願成寺	後期
4	六玉川歌意図屏風	六曲一双	佐々木泉景	江戸(19世紀)		全期間
5	琴棋書画図屏風	六曲一隻	佐々木泉景	江戸(19世紀)		前期
6	白澤図	1幅	佐々木泉景	江戸(19世紀)		全期間
7	武将(張飛)画賛	1幅	佐々木泉景	江戸(19世紀)		全期間
8	南天に子犬図	1幅	佐々木泉景	江戸(19世紀)		全期間
9	富士之図	三幅対	佐々木泉景	江戸(19世紀)	個人	全期間
10	琴高仙人図	1幅	佐々木泉景	天保12(1841)年	個人	全期間
11	王子喬図	1幅	佐々木泉景	天保12(1841)年	個人	全期間
12	自讃歌画帖	1冊	佐々木泉景	天保13(1842)年		全期間
13	曾我兄弟図絵馬	1面	佐々木泉景	文化5(1808)年	個人	全期間
14	大江山鬼退治図絵馬	1面	佐々木泉景	文政11(1828)年	個人	全期間
15	四季花鳥図屏風下絵(春夏)	1枚	佐々木泉景	江戸(19世紀)	加賀市美術館	全期間
16	四季花鳥図屏風下絵(秋冬)	1枚	佐々木泉景	江戸(19世紀)	加賀市美術館	全期間
17	桃源之山水図下絵	2枚	佐々木泉景	江戸(19世紀)	加賀市美術館	右図-前期 左図-後期
<b>2. 泉景の一門</b>						
18	俳諧炭俵図屏風	六曲一双	佐々木泉玄	明治8(1875)年		全期間
19	巽御殿絵巻	1巻	佐々木泉玄	文久3(1863)年		全期間
20	出山釈迦図	1幅	佐々木泉玄	明治元(1868)年頃	個人	全期間
21	金谷御殿地袋戸下絵	1枚	佐々木泉玄	江戸(19世紀)		全期間
22	花之宴図下絵	1枚	佐々木泉玄	江戸(19世紀)	加賀市美術館	全期間
23	胡蝶図下絵	1枚	佐々木泉玄	江戸(19世紀)	加賀市美術館	前期
24	野分図下絵	1枚	佐々木泉玄	江戸(19世紀)	加賀市美術館	後期
25	滝図	1幅	佐々木泉龍	江戸(19世紀)		全期間
26	夢想天神画賛写	1幅	佐々木泉龍	嘉永2(1849)年		全期間
27	百鬼夜行図巻	1巻	佐々木泉曄	文久2(1862)年		全期間
28	泉龍愛用筆箱	1式		江戸~明治(19世紀)		全期間
29	秋冬花鳥図屏風	六曲一隻	松波景栄	慶応元(1865)年頃		後期
30	龍図	1幅	松波景栄	文久元(1861)年頃		全期間
31	蘇武牧羊図	1幅	中浜鶴汀	慶応3(1867)年		全期間

## 他団体主催の展覧会

平成 25 年度

### ◆兼六園周辺文化の森ミュージアムウィーク 2013

主 催 石川県県民文化局文化振興課  
後 援 (社)石川県観光連盟  
期 日 10月5日(土)～10月6日(日)  
会 場 本多の森公園広場  
内 容 歴史・アート体験まつり  
催 物 甲冑、駕籠、ホラ貝 の各体験  
参加者 10/5 : 189名 10/6 : 179名 合計 368名



ミュージアムウィーク 2013

### ◆第1回いしかわ百万石の集い

主 催 観光戦略推進部  
期 日 8月24日(土)  
会 場 ハイアット リージェンシー東京(東京都新宿区)  
内 容 昭和の玩具類(体験用)貸出

### ◆石川県・香川県フェア

主 催 観光戦略推進部  
期 日 11月16日(土)～17日(日)  
会 場 イオンレイクタウン(埼玉県越谷市)  
内 容 甲冑、打掛着付体験 全4日間の内2日間参加

平成 26 年度

### ◆兼六園周辺文化の森ミュージアムウィーク 2014

主 催 石川県県民文化局文化振興課  
後 援 (社)石川県観光連盟  
会 期 10月4日(土)～10月5日(日)  
会 場 本多の森公園広場  
内 容 「体験コーナー」(甲冑・駕籠の各体験)  
参加者 10/4 : 40名 10/5 : 132名 合計 131名



ミュージアムウィーク 2014

### ◆リニューアル工事見学会

期 日 10月9日(木)  
参加者 50人

## 2. 調査研究活動

### (1) 紀要の発行

石川県立歴史博物館紀要 25号 (平成27年3月31日発行)

加賀藩士「上木家文書」について……………濱岡 伸也

村松家資料 (追加分) ……………塩崎 久代

### (2) 石川の歴史遺産セミナー

博物館活動の充実を図るため、県内外の研究機関並びに研究者の協力を得ながら、当地の新しい歴史像の創造に寄与できる歴史的課題に取り組み、公立博物館としての専門性と情報発信機能を強化するとともに、地域の人々が身近な地域遺産に学び、自発的で豊かな文化活動が展開できるよう文化力向上を図る。

#### 平成25年度

##### 第18回石川の歴史遺産セミナー

テーマ「加賀郡榜示札が語る古代社会」

平成25年6月29日(土) 10:00~15:30 (於: 当館学習ホール)

「加賀郡榜示札に見る古代の情報伝達」	愛媛大学名誉教授	松原 弘宣 氏
「河北潟水系と古代の津」	金沢市文化財保護課課長	出越 茂和 氏
「加茂遺跡と加賀郡榜示札」	国立歴史民俗博物館名誉教授	吉岡 康暢 氏

##### 第19回石川の歴史遺産セミナー

テーマ「一向一揆とは何か『百姓ノ持タル国』の実像に迫る」

平成25年9月8日(日) 10:00~15:30 (於: 石川県立美術館ホール)

「一向一揆研究の現状と展望」	同朋大学文学部准教授	安藤 弥 氏
「一向一揆と守護・大名との関係」	加能地域史研究会副代表	木越 祐馨 氏
「織豊期における本願寺門徒の動向ー加賀門徒を中心にー」	当館学芸主任	塩崎 久代

##### 第20回石川の歴史遺産セミナー

テーマ「大名庭園の世界ー兼六園と日本三名園ー」

平成25年11月23日(土) 10:00~15:30 (於: 石川県立美術館ホール)

「蓮池庭・竹沢庭の推移と利用」	北陸史学会会員	長山 直治 氏
「岡山後楽園の近代ー兼六園との比較においてー」	京都工芸繊維大学大学院教授	小野 芳朗 氏
「よみがえる金沢城の庭園ー発掘調査を中心にー」	石川県金沢城調査研究所主幹	滝川 重徳 氏

#### 平成26年度

##### 第21回石川の歴史遺産セミナー

テーマ「加賀の王墓と変革の5世紀」

平成26年9月6日(土) 13:00~17:00 (於: 能美市立辰口図書館ホール)

「能美古墳群の最新の調査成果」	能美市教育委員会学芸員	菅原 雄一 氏
「巨大古墳の世紀の王と武装」	京都大学大学院文学研究科助教	阪口 英毅 氏
「副葬品から見た南加賀の武人」	石川考古学研究会代表幹事	河村 好光 氏

##### 第22回石川の歴史遺産セミナー

テーマ「百万石の治世と加賀八家」

平成26年11月29日(土) 13:00~17:00 (於: 石川県立美術館ホール)

「年寄連署状からみた大名前田家の権力構造」	石川県金沢城調査研究所所長	木越 隆三 氏
「加賀騒動期の年寄の動向と意識」	石川県金沢城調査研究所主幹	石野 友康 氏
「近世大名家における家老の位置」	福島大学人間発達文化学類准教授	三宅 正浩 氏

### (3) 国際交流事業

#### 韓国国立全州博物館との交流

大韓民国国立全州博物館と当館が平成3年1月15日に締結した姉妹館協約に基づき、両館の学術的、文化的交流と親善、ならびに環日本海文化の共同研究を目的として交流員を相互派遣し、交流記念展についての打ち合わせや、専門分野に関連した文化施設、史跡などの視察を行った。

#### 【学芸員の交流】

平成25年度

石川県立歴史博物館 学芸主任 石田 健を全州博物館に派遣

派遣期間：平成25年9月9日（月）～9月15日（日）

韓国国立全州博物館 学芸研究士 陳 政煥氏 来県

受入期間：平成26年2月17日（月）～2月23日（日）

平成26年度

石川県立歴史博物館 学芸主任 大井 理恵を全州博物館に派遣

派遣期間：平成26年6月23日（月）～6月29日（日）

韓国国立全州博物館 学芸研究士 蔡 効廷氏 来県

受入期間：平成26年12月8日（月）～12月14日（日）

### 3. 資料収集保管活動

#### (1) 収集資料一覧

平成 25 年度

寄贈資料

	分類	資料名称	点数	年代
1	美術品	刀 銘「備州長船祐定作 大永 2 年 2 月 日」	1	室町時代後期 (大永 2 年 (1522))
2	歴史資料	二十日講法名幅	5	昭和 42 年頃まで
3	歴史資料	小川家文書	188	江戸前期～明治
4	歴史資料	小川家資料	40	江戸前期～明治
5	歴史資料	『創立 20 周年記念金沢市中央公民館合唱団第 20 回演奏会 (朱鷺幻想)』プログラム	1	昭和 47 年
6	歴史資料	同人誌『朱鷺』	1	昭和 50 年
7	歴史資料	石川県野鳥園パンフレット	3	昭和 58 年
8	歴史資料	絵葉書「河北潟の白鳥」	1	昭和 45 年
9	歴史資料	石川野鳥の会絵葉書	3	昭和 45 年
10	歴史資料	北陸新演劇人協会パンフレット	3	昭和 23、24 年
11	歴史資料	石川県立金沢第二高等女学校独唱会プログラム	1	昭和 22 年
12	歴史資料	めぐみ合唱会プログラム	2	昭和 21、22 年
13	歴史資料	中部日本新聞社主催音楽コンクール発表会プログラム	1	昭和 22 年
14	歴史資料	新生新派金沢公演パンフレット	1	昭和 26 年
15	歴史資料	明治大正期徽章	5	明治～大正期
16	歴史資料	大谷派本願寺金沢別院本堂上棟式次第	1	大正 13 年
17	歴史資料	織物業視察関係資料	6	大正 3 年～4 年
18	歴史資料	豆腐株札	2	明治 2 年 (1869) 明治 21 年 (1888)
19	歴史資料	磯部屋関係文書	13	江戸時代後期
20	歴史資料	刀「銘 賀州住藤原家忠」	1	江戸時代前期 (17 世紀前半)
21	歴史資料	脇差「銘 清光」	1	江戸時代前期 (17 世紀中頃)
22	歴史資料	脇差「銘 日向守藤原廣高」	1	江戸時代前期 (17 世紀中頃)
23	歴史資料	短刀「銘 荘司直秀」	1	明治 3 年
24	歴史資料	槍	1	江戸時代
25	歴史資料	短刀 無銘	1	江戸時代
26	歴史資料	矢屏風	1	江戸時代
27	歴史資料	弓	1	江戸時代
28	歴史資料	胸当て	1	江戸時代
29	歴史資料	火縄銃木座	1	江戸時代
30	歴史資料	明治六年地券	1	明治 6 年 (1873)
31	歴史資料	星条旗新聞 週間展望 (極東軍版)	74	1947 (昭和 22) 年～1951 (昭和 26) 年
32	歴史資料	星条旗新聞 日刊紙 (太平洋版)	2	1950 (昭和 25) 年
33	歴史資料	星条旗新聞 クリスマス特集号	4	1947 (昭和 22) 年～1950 (昭和 25) 年
34	歴史資料	軍用版ポケット文庫本	34	1932 (昭和 7) 年～1945 (昭和 20) 年
35	歴史資料	雑誌 T I P S	8	1947 (昭和 22) 年～1949 (昭和 24) 年
36	歴史資料	雑誌 デモクラシー	3	1946 (昭和 21) 年
37	歴史資料	雑誌 デュボンマガジン	1	1947 (昭和 22) 年
38	歴史資料	米軍隊使用日本地図	2	1945 (昭和 20) 年～1946 (昭和 21) 年
39	歴史資料	明治・大正・昭和期教科書	26	明治 32 年 (1899) ～昭和 25 年 (1950)
40	歴史資料	資産家番付	2	明治 35 年 (1902)、大正 5 年 (1916)
41	歴史資料	金沢飛行場位置図	1	昭和 12 年 (1937) 7 月 4 日
42	歴史資料	村澤藤作戦前・戦後のくらし等資料	30	昭和戦前期～戦後期
43	歴史資料	村澤藤作戦争関係資料	41	昭和戦前期～戦後期
44	民俗資料	獅子具	1	平成 18 年まで使用

	分類	資料名称	点数	年代
45	民俗資料	消防着	1	大正～昭和初期
46	民俗資料	ラーメン丼鉢	2	昭和 37 年頃購入
47	民俗資料	獅子具	1	昭和 29 年中止
48	民俗資料	加賀谷家染織資料	91	江戸期～昭和期
49	民俗資料	明治期五寶商店看板	2	明治期（明治 22 年〔1889〕以降）
50	民俗資料	手動式映写機 一式	1	昭和期

寄贈資料合計 50 件 526 点

### 購入資料

	分類	資料名称	点数	年代
1	美術品	加賀藩士上木家文書	350	戦国時代末期～昭和初期

購入資料合計 1 件 350 点

寄贈・購入資料合計 51 件 876 点

## 平成 26 年度

### 寄贈資料

	分類	資料名称	点数	年代
1	美術品	如来三尊像博仏	1	飛鳥時代後期（白鳳） 7 世紀後半
2	美術品	辰巳用水長巻図	1	江戸時代
3	歴史資料	橋本忠吾撮影写真	49	1920 年代
4	歴史資料	絵葉書・観光パンフレット	491	明治 42 年～昭和 33 年
5	歴史資料	鞍コレクション（第 3 追加分）映画・映画館関係資料	21	昭和 戦前～戦後期
6	歴史資料	鞍コレクション（第 3 追加分）第 2 回国民体育大会関係資料	2	昭和 22 年（1947 年）
7	歴史資料	槍	1	江戸時代
8	歴史資料	昭和 50 年、60 年の円光寺住宅団地画集	14	昭和 50 年代、60 年代
9	歴史資料	村松家資料（追加分）	899	江戸期～昭和期
10	民俗資料	スキー一式（板、ストック、アザラシの皮）	1	昭和期
11	民俗資料	ハンドベアリングコンパス	1	昭和期
12	民俗資料	ガスランプ	1	昭和期
13	民俗資料	朱縮緬地扇鼓源氏車文様振袖綿入四つ身	1	大正時代末期
14	民俗資料	藍縮緬地桜小禽文様振袖袷四つ身	1	大正時代末期
15	民俗資料	黒羽二重地富士雲龍文様熨斗目紋付綿入四つ身	1	大正時代末期
16	民俗資料	白羽二重地綿入四つ身	1	大正時代末期
17	民俗資料	藍木綿地袴纏	1	大正～昭和初期
18	民俗資料	満州引揚者のリュックサック	1	昭和 20 年（1945）製作
19	民俗資料	鶴亀	1	昭和 20 年（1945）製作

寄贈資料合計 18 件 1,489 点

### 購入資料

	分類	資料名称	点数	年代
1	歴史資料	金沢武家・町屋等建物調査資料	13	昭和 50 年が中心
2	歴史資料	手取川ダム水没集落等調査資料	33	昭和 40～50 年代
3	歴史資料	引札	3	明治後期～昭和初期
4	歴史資料	能登線・七尾線鉄道関係資料	8	昭和 44～平成 5 年
5	模型・複製	名勝「兼六園」物語展示コーナー造作一式	1	
6	模型・複製	モダンの小部屋造作一式	1	
7	模型・複製	祭礼体感シアター 展示コーナー造作一式	1	



	分類	資料名称	点数	年代
8	模型・複製	兼六園周辺文化の森模型展示コーナー造作一式	1	
9	模型・複製	なりきりショット展示コーナー造作一式	1	
10	模型・複製	勝示札から見える律令社会 古代のお触書き/ミラービジョン模型	1	
11	模型・複製	領主館模型	1	
12	模型・複製	宮竹屋周辺の町並み	1	
13	模型・複製	兼六園ジオラマ模型	1	
14	模型・複製	昭和の茶の間再現模型	1	
15	模型・複製	兼六園周辺文化の森模型	1	
16	模型・複製	体験アイテム	1	
17	視聴覚その他	展示室導入映像	1	
18	視聴覚その他	蝦夷穴古墳映像	1	
19	視聴覚その他	東アジアとの交流映像	1	
20	視聴覚その他	古代のお触書映像	1	
21	視聴覚その他	堅田遺跡	1	
22	視聴覚その他	中世シアター映像	1	
23	視聴覚その他	大名行列が行く映像	1	
24	視聴覚その他	近現代導入（立体映像）	1	
25	視聴覚その他	紀尾井町事件映像	1	
26	視聴覚その他	名勝「兼六園」物語映像	1	
27	視聴覚その他	ニュース映像	1	
28	視聴覚その他	祭りアーカイブ映像一式	1	
29	視聴覚その他	あえのこと映像	1	
30	視聴覚その他	祭礼体感シアター 映像	1	
31	視聴覚その他	兼六園周辺文化の森案内映像	1	
32	視聴覚その他	いしかわ歴史観光マップ 検索コンテンツ	1	
33	視聴覚その他	なりきりショット インタラクティブコンテンツ	1	
34	視聴覚その他	建物紹介映像	1	
35	視聴覚その他	オリエンテーションシアター	1	
36	視聴覚その他	音声ガイド ソフト一式	1	

購入資料合計 36件 89点

寄贈・購入資料合計 54件 1,578点

## (2) 資料の保存

### ◆ガス燻蒸消毒／防虫処理作業

平成18年度から、通常ガス燻蒸を全面中止し、特殊テントの中に炭酸ガス（二酸化炭素＝CO<sub>2</sub>）を2～3週間充填し、酸欠による窒息で殺虫を行う方式に改めた。これまで実施してきた館内定点モニタリングと清掃作業の成果により、人体や環境への影響が懸念される化学薬品への依存を最小限にとどめるものである。また、害虫の侵入しやすい経路に対して薬剤散布による予防や、館内定点モニタリングの継続・実施により、虫菌類被害の予防に努めている。なお平成25年度よりリニューアル工事のため旧七尾工業高校を外部収蔵庫とし、環境調査を行ったほか、特別収蔵庫全体および移動燻蒸車による薬剤燻蒸（ヴァイケーン使用）を実施した。

#### (炭酸ガス殺虫)

##### ① 作業概要

床面積4m×4mに高さ2mの32m<sup>2</sup>の容量を持つテントに炭酸ガス（CO<sub>2</sub>）を充填し、殺虫処理を行う。

##### ② 作業の実施

平成25年度は3回実施。平成26年度は実施せず。一回当たりの作業時間は2週間、使用炭酸ガス量は45kg。

## (環境調査モニタリング)

### ① 実施場所

第1～3棟の収蔵室と展示室、および 正面受付と各棟出入口

### ② 調査方法

- ア. 害虫調査 調査区域に捕虫トラップを設置し、2～3週間後に回収する。また、各室の埃を採取する。
- イ. 菌類調査 エアースンプラーにより浮遊菌を採取。付着菌は各室5ヶ所で円筒状サブロー寒天を床面にあてて採取。
- ウ. 浮遊粒子調査 各室1ヶ所バイオテストにより空気を採取し、0.3、0.5、1.0、5.0ミクロンの4粒子を測定する。

### ③ 調査期間

平成25年度は年2回(10月18日、2月6日)、平成26年度は実施せず。

### ④ 結果報告

翌月中に調査ごとの分析結果を書面で報告。年度全体の分析から翌年度の対策計画に反映させる。

## (害虫など防除作業)

### ① 各棟進入経路への薬剤散布

- ア. 実施場所 各棟 出入口・非常口、渡り廊下出入口
- イ. 実施期間 平成25年4月～平成27年3月(計10回)
- ウ. 実施方法 低臭性殺虫乳剤をハンドスプレーにより噴霧。薬剤はジメチルー0(3-メチルー4-ニトロフェニル)、ホスホロチオオイト(低臭性 シントー スミチオン乳剤)

### ② 防塵用ソールマットの設置

- ア. 設置場所 特別収蔵庫、文献図書室、古文書室、第2収蔵室
- イ. 設置方法 各室入口に微粘着性ソールマット(30シート1綴り)を設置し、付着した埃や菌を吸着する。

## (リニューアルに伴う環境調査・燻蒸)

### ① 環境調査

ア. 実施場所 旧七尾工業高校

#### イ. 調査方法

- i. 害虫調査 調査区域に捕虫トラップを設置し、2～3週間後に回収する。また、各室の埃を採取する。
- ii. 菌類調査 エアースンプラーにより浮遊菌を採取。付着菌は各室5ヶ所で円筒状サブロー寒天を床面にあてて採取。
- iii. 浮遊粒子調査 各室1ヶ所バイオテストにより空気を採取し、0.3、0.5、1.0、5.0ミクロンの4粒子を測定する。

ウ. 調査期間 平成25年11月13日、平成26年3月26日、10月7日(計3回)

### ② 薬剤燻蒸

ア. 作業概要 ヴァイケーンをガス化させて使用。特別収蔵庫は126kgを48時間、移動燻蒸車は2kgを24時間、それぞれ密閉して投薬した。

イ. 作業の実施 平成27年3月13～26日(計3回)

## (3) 館蔵資料分類表

(H27.3.31)

資料区分		収集年度	平成 24 年度末 資料 総 数	平成 25 年度 収集資料数	平成 26 年度 収集資料数	資料総数
美 術	購 入 寄 入付		11,426	350 1	0 2	11,779
考 古	購 入 寄 入付		5,921	0 0	0 0	5,921
歴 史	購 入 保管 寄 換付		70,195	0 0 516	57 0 1,477	72,245
民 俗	購 入 寄 入付		28,251	0 9	0 10	28,270
自 然	購 入 寄 入付		92	0 0	0 0	92
模 型	購 入 寄 入付		200	0 0	12 0	212
パ ネ ル	購 入 寄 入付		187	0 0	0 0	187
視 聴 覚 室 の 他	購 入 寄 入付		10,132	0 0	20 0	10,152
図 書	購 入 寄 入付		2,092 52,174	0 1415	0 1428	2,092 55,017
合 計			180,670	2,291	3,006	185,967

## (4) 貸与資料一覧

平成 25 年度

貸 与 先	資 料 名	目 的	期 間
前田土佐守家資料館	ペリー来航陸海御固之図 ほか 5 点	企画展「幕末の加賀藩年寄役 前田土佐守家 10 代 前田直信」に展示のため。	H25.7.12～H25.10.8
クリーンビーチいしかわ実行委員会	室矢幹夫氏収集漂流物コレクション 3 点	「いしかわ環境フェア 2013」 ほかで展示するため。	H25.8.23～H25.10.15
独立行政法人 国際交流基金	前田家陣幕 ほか 14 点	パリ日本文化会館展覧会「加賀百万石一金沢に花開いたもう一つの武家文化」に展示のため。	H25.8.26～H26.1.20
石川県銭屋五兵衛記念館	箱型望遠鏡 ほか 3 点	企画展「銭五一族と河北潟事件 - 黒川良安の検証-」に展示のため。	H25.8.26～H25.11.1
(公財) 石川近代文学館	北辰会雑誌第 96 号 ほか 3 点	企画展「中野重治 肉筆原稿に見る<文学者>として生きた生涯」にて展示のため。	H25.9.9～H25.12.3
石川県立図書館	金沢市内電車木札 ほか 5 点	企画展示「石川の鉄道 ～北陸本線 100 年～」に展示のため。	H25.9.9～H25.11.5
前田土佐守家資料館	四条流相伝絵巻 1 点	特別展「加賀藩上級武士の味覚—前田土佐守家当主が記した献立・レシピ—」にて展示のため。	H25.9.19～H25.12.24
(公財) 藩老本多蔵品館	浅井弘五郎所用刀鞘 ほか 2 点	特別展「開館 40 周年記念 加賀藩激動の維新史 政均の暗殺と忠臣の仇討」に展示のため。	H25.9.25～H25.12.20
北法相宗大本山音羽山清水寺	清水寺惣指図 1 点	「平成の大修理」における基礎資料として。	H25.11.25～H27.3.31
北國新聞社 事業局	加賀国金沢城図 ほか 2 点	映画「武士の献立」展への出品、公開のため。	H25.12.2～H25.12.26

合計 10 件 39 点

平成 26 年度

貸与先	資料名	目的	期間
石川県立美術館	白糸威二枚胴具足 1点	特集展示「城下町金沢—武士と人々の暮らし—」に展示・チラシなどに掲載するため。	H26.5.21～H26.9.1
(公財) 石川近代文学館	百鬼夜行 1点	企画展「妖怪えほん原画展」にて展示のため。	H26.5.23～H26.7.14
百万石まちなかめぐり実行委員会	旧県庁舎写真(額) ほか12点	石川県政記念しいのき迎賓館にて行われる、しいのき緑地・いしかわ四高記念公園の整備完成記念イベントにて展示のため。	H26.7.18～H26.7.28
能美市教育委員会	西山9号墳出土 馬鐸 ほか9点	能美古墳群国史跡指定記念展示「京都国立博物館所蔵品 里帰り展」で展示するため。	H26.8.25～H26.10.3
金沢大学資料館	第四高等学校建築図その3 1点	特別展「超然—第四高等学校の校風と学生たち—」に展示するため。	H26.10.6～H26.12.9
金沢市文化財保護課	中屋サワ遺跡出土品の複製品 2点	改修後の金沢市埋蔵文化財センター内、特別展示室に展示する複製品製作のため。	H26.12.8～H27.1.30
石川県立美術館	豊臣秀吉前田邸御成之記 ほか2点	企画展「高山右近とその時代」展に展示するため。	H27.1.4～H27.2.11
長野県立歴史館	下街道参勤交代図巻 1点	春季企画展「山と海の廻廊をゆく—信濃と北陸をつなぐ道—」にて展示・図録等への掲載のため。	H27.2.20～H27.5.27

合計 8 件 29 点

(5) 写真貸与・特別利用状況

平成 25 年度

種別	点数
写真貸与	3件 11点
写真掲載・放映	83件125点(うち非館蔵品1件1点)
閲覧	2件 5,401点
撮影	4件 10点

合計 92 件 5,547 点

平成 26 年度

種別	点数
写真貸与	1件 1点
写真掲載・放映	98件 161点
閲覧	0件 0点
撮影	1件 20点

合計 100 件 182 点

## 4. 教育普及活動

### (1) 一般広報

#### ■新聞・広報誌・雑誌などへの掲載

新聞（一般記事・情報案内記事・県庁広報記事）  
広報いしかわ、商工石川など県発行の広報誌  
各種情報誌、タウン情報誌、歴史・美術系雑誌

#### ■テレビ・ラジオでの広報

県広報番組、ニュース番組、情報番組

#### ■マスコミへの情報提供

県庁文教記者クラブ加入の 17 社に随時情報を提供。  
県内放送局及び新聞社に随時情報を提供。

#### ■インターネットによる情報提供

当館ホームページで最新情報を公開  
各種観光・イベント情報 Website への掲載

#### ■新聞広告

#### ■広報誌「石川れきはく」の発行（年 4 回）

県内教育委員会、県内図書館・公民館・博物館その他公共施設、れきはくメイト会員

#### ■「れきはくメイト情報」の発行（年 5～7 回）

れきはくメイト会員への各種案内

#### ■ポスター、チラシの配布

北陸 3 県及び岐阜県の教育委員会・小中学校  
県内図書館・公民館・博物館その他公共施設、宿泊関係施設、県内商店街、県内市町観光関係所管課、石川県内のローソン・イオン 他

#### ■学校向けちらしの作成・配布

石川県立美術館と共同でチラシを作成し、北陸三県の小中学校等に配布

### (2) リニューアルオープンに向けての広報活動

#### ①アウトリーチ活動

平成 25・26 年度に小松・七尾・金沢（石川四高記念文化交流館）・羽咋で開催した「リニューアルオープンプレ企画展（移動展）」の展示会場でパネル・映像、チラシにて広報した。また、平成 26 年度にはリニューアルの機運を高めるため石川県庁 19 階ロビーとしいのき迎賓館において、リニューアルの準備風景をパネルで解説したメイキング展を行った。



しいのき迎賓館  
リニューアルメイキング展

#### ②印刷物

#### ■リニューアルオープンプレ企画展チラシ

#### ■体験イベント用ごほうびシール「あっぱれ！」

リニューアルオープンを告知

#### ■平成 26 年度催し物案内・リニューアル告知リーフレット（A4 三つ折り）

#### ■リニューアル告知リーフレット（建物型）

#### ■リニューアル・春季特別展チラシ（A4）



あっぱれシール

#### ③首都圏向けの広報

当館のリニューアルが平成 27 年春の北陸新幹線金沢開業に合わせたものであったため、首都圏沿線に向けた広報活動も行った。

#### ■石川県人会「百万石の集い」での

体験イベントの実施、チラシ配架

毎年夏に東京で開催される石川県人会「百万石の集い」の会場にチラシを配架。平成 25 年には体験ブースを設けることになり、当館からモノポリーゲームやおはじきといった昔のおもちゃを出品した。



リニューアル告知リーフレット（建物型）内面・外面

■「イオンレイクタウン 石川県香川県フェア」  
 日時：平成 25 年 11 月 16 日（土）～19 日（日）  
 ※うち 16 日（土）・17 日（日）のみ参加  
 場所：イオンレイクタウン[mori]（埼玉県越谷市）  
 内容：「さむらい・おひめさまにへんしん！」コーナーにて侍大将の甲冑と江戸時代の打掛（いずれもレプリカ）を着用する体験を無料で実施。



イオンレイクタウン 石川県香川県フェア

■石川県アンテナショップへのパンフレット配架

④建物愛称・新ロゴマーク

リニューアルオープンに合わせて、石川県立歴史博物館と加賀本多博物館が同居する赤レンガ建物 3 棟（重要文化財）の愛称を公募し（募集期間：平成 26 年 4 月 28 日～6 月 10 日）、「いしかわ赤レンガミュージアム」に決定。これに伴い、建物愛称入りのロゴマークが新しく作成された。



新しいロゴマーク（建物愛称入り）

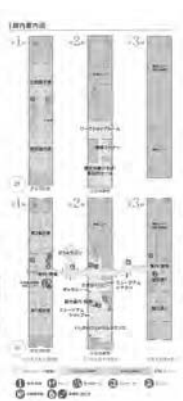


（3）出版

■機関誌「石川れきはく」 規格：A4 頁数：4 ページ 発行部数：2,100 部  
 平成 25 年度はNo.107・108、平成 26 年度はNo.109～112 を発行し、関係機関やれきはくメイト（友の会）等に配布した。



■新博物館案内パンフレット（日本語・英語・中国語[繁体字・簡体字]・韓国語 A4 三つ折り）



#### (4) 講座

##### ◆れきはくゼミナール

れきはくゼミナールを次のように開催した。

1. 対象・定員 どなたでも 定員なし
2. 開催期日 毎月第3金曜日(全11回)  
14:00~15:30
3. 受講料 無料
4. 会場 石川県立美術館講義室
5. 講師 当館学芸員
6. 講座内容 別表のとおり

平成25年度

No	開催日	テーマ	担当者	参加者
1	6月21日	廻船問屋 海を行く!	濱岡 伸也	48名
2	7月19日	古典文学の意匠 -源氏物語-	前田 武輝	35名
3	8月16日	古墳にみる加賀・能登の古代史	三浦 俊明	45名
4	9月20日	金沢の仏像	本谷 文雄	40名
5	10月18日	「石動山古絵図」を読み解く	塩崎 久代	53名
6	11月15日	能登の霊場・高爪山の考古学	戸潤 幹夫	35名
7	12月20日	ドジョウ蒲焼150年史	大門 哲	32名
8	1月17日	染織の歴史 -友禅染を中心に-	大井 理恵	33名
9	2月21日	日本、朝鮮半島の古代瓦文様	岩島千津代	34名
10	3月21日	モダン金沢と大衆文化	石田 健	35名



平成25年度 第1回れきはくゼミナール

##### ◆県民大学校歴史講座

石川県の歴史と文化について、基礎的な理解を深める専門講座とした。

1. 対象・定員 どなたでも 50人まで
2. 開催期間 11月~2月の間に12回開催  
水曜日 14:00~15:30
3. 参加費 無料
4. 会場 石川県立美術館講義室
5. 講師 当館学芸員
6. 講座内容 別表のとおり

平成25年度

No	開催日	テーマ	担当者
1	11月13日	石川の原始	三浦 俊明
2	11月20日	石川の古代	岩島千津代
3	11月27日	石川の中世	塩崎 久代
4	12月4日	石川の近世	濱岡 伸也
5	12月11日	石川の絵画史	北 春千代
6	12月18日	古代~近世の文化財	本谷 文雄
7	1月8日	明治・大正・昭和の石川	石田 健
8	1月15日	加賀・能登のことば	前田 武輝
9	1月22日	加賀・能登の祭	大門 哲
10	1月29日	加賀・能登のくらしと布	大井 理恵

受講者数：45名



平成26年度 第1回 県民大学校

平成26年度

No	開催日	テーマ	担当者	参加者
1	6月20日	古典文学の意匠 -平家物語-	前田 武輝	58名
2	7月18日	玉作りと弥生・古墳社会	三浦 俊明	57名
3	8月15日	金沢町人宮竹屋の歴史と文化	塩崎 久代	70名
4	9月19日	お代官様は悪人ですか?	濱岡 伸也	70名
5	10月17日	能登仏像ものがたり	本谷 文雄	75名
6	11月21日	染織の歴史 -小袖文様とその時代-	大井 理恵	38名
7	12月19日	オカルト都市金沢 -大衆化する呪い、見世物化する心霊-	大門 哲	44名
8	1月16日	海道の絵馬を読む	戸潤 幹夫	50名
9	2月20日	いしかわ歴博の近現代展示	石田 健	44名
10	3月20日	縄文犬を知っていますか?	岩島千津代	50名

平成26年度

No	開催日	テーマ	担当者
1	11月12日	石川の原始	三浦 俊明
2	11月19日	石川の古代	戸潤 幹夫
3	11月26日	石川の文化財-中世編-	本谷 文雄
4	12月3日	石川の中世	塩崎 久代
5	12月9日	石川の近世	濱岡 伸也
6	12月24日	明治・大正・昭和の石川	石田 健
7	1月7日	加賀・能登のことば	前田 武輝
8	1月14日	石川のまつり	大門 哲
9	1月21日	加賀・能登のくらしと布	大井 理恵
10	1月28日	石川の近世絵画	北 春千代

受講者数：32名

(5) 博学連携事業

◆学習用資料貸出事業

学校や教育関係機関に当館所蔵のレプリカ資料を貸し出すことで、歴史をより身近なものに感じてもらう。

貸出先学校・施設	貸出期間	資料名(数量)
石川県立金沢北陵高等学校	平成25年7月24日～31日	体験用甲冑(一式)、甲冑掛け(1)
石川県立金沢北陵高等学校	平成26年7月24日～31日	体験用甲冑(一式)、甲冑掛け(1)

(6) れきはくメイトの運営

平成25・26年度会員年齢構成

年齢層	性別		合計	割合(%)
	男	女		
～10代	0	0	0	0
20代	0	0	0	0
30代	2	1	3	1.1
40代	6	5	11	4.0
50代	6	5	11	4.0
60代	35	39	74	26.6
70代	67	41	108	38.8
80代	44	20	64	23.0
90代～	3	2	5	1.8
不明	1	1	2	0.7
合計	164人	114人	278人	100.0%

会員住居地区別構成

地区名	人数	地区名	人数	地区名	人数
(県内)		(県外)			
金沢市	207	七尾市	0	富山県	5
加賀市	2	中能登町	1	新潟県	1
小松市	7	能登町	3	福島県	1
白山市	18	輪島市	1	滋賀県	1
能美市	4	珠洲市	2	東京都	1
野々市市	4			愛知県	1
内灘町	8				
津幡町	4				
かほく市	4				
宝達志水町	1	小計(県内)	268	小計(県外)	10
羽咋市	2			総計	278

れきはくメイト情報の発行

平成25年度

号数	発行日	主な内容
161号	4月20日	春の歴史散歩・催事案内
162号	5月24日	初夏のバスツアー・歴史散歩報告
163号	7月5日	プレ企画展「大名行列がやってきた！」(小松)・バスツアー報告
164号	9月5日	プレ企画展「大名行列がやってきた！」(七尾)・秋の歴史散歩
165号	9月27日	秋のバスツアー・いしかわ県民大学校
166号	11月15日	プレ企画展「モダン金沢と映画文化」・秋の歴史散歩、バスツアー報告
167号	2月10日	リニューアル特集「れきはくの一年」・来年度行事予定



メイト情報 167

平成26年度

号数	発行日	主な内容
168号	4月17日	プレ企画展「大名行列がやってきた！」(羽咋)・春の歴史散歩
169号	5月27日	初夏のバスツアー・れきはくゼミナール・春の歴史散歩報告
170号	7月10日	プレ企画展「加賀藩お抱え絵師 佐々木泉景」・初夏のバスツアー報告
171号	9月5日	秋の歴史散歩・リニューアルPR展
172号	9月25日	秋のバスツアー・いしかわ県民大学校
173号	12月25日	秋の歴史散歩、バスツアー報告
174号	2月27日	リニューアルオープン・れきはくメイト会員募集



メイト情報 170



平成 25 年度

バスツアー・歴史散歩

★バスツアー  
6月20日

「円空ゆかりの関を訪ねる」

対象：れきはくメイト  
担当：当館学芸員  
講師：当館学芸員・関善光寺職員・新長谷寺職員・日龍峰寺職員  
参加料：8,100円（入館料・交通傷害保険料・昼食費を含む）  
行程：金沢－関市円空館・円空入定塚－関善光寺－（昼食「海鮮やじゅらく」）－新長谷寺－日龍峰寺－金沢

★バスツアー  
10月30日

「観音の里 湖北」

対象：れきはくメイト  
担当：当館学芸員  
講師：当館学芸員・普門山徳円寺職員  
参加料：8,500円（入館料・交通傷害保険料・宿泊費・昼食費を含む）  
行程：金沢－普門山徳円寺－己高閣・世代閣－（昼食「己高庵」）－己高山石道寺－渡岸寺観音堂－湖東山正妙寺－木之本地蔵院－北国街道の町並み－金沢

☆歴史散歩  
5月9日

「城下町金沢の真宗寺院」

対象：れきはくメイト  
担当：当館学芸員  
講師：当館学芸員・常福寺職員・廣濟寺職員・あかつき屋職員・西光寺職員  
参加料：500円（資料代）  
行程：常福寺－東外惣構堀跡－廣濟寺－あかつき屋－西光寺

☆歴史散歩  
10月10日

「金石 まち歩き」

対象：れきはくメイト  
担当：当館学芸員  
講師：当館学芸員・専長寺職員  
参加料：500円（資料代）  
行程：本龍寺－観田家住宅－秋葉神社－専長寺－龍源寺－導入寺

平成 26 年度

バスツアー・歴史散歩

★バスツアー  
6月25日

「清流の城下町郡上八幡」

対象：れきはくメイト  
担当：当館学芸員  
講師：当館学芸員・楊柳寺職員・安養寺職員・まちなみガイド  
参加料：8,500円（入館料・交通傷害保険料・昼食費を含む）  
行程：金沢－瑞宝山楊柳寺－町並み観光－（昼食「流響の里」）－郡上八幡博覧館－遠郷山安養寺－鍾山慈恩護国禪寺－金沢

★バスツアー  
10月29日

「若狭の秘仏を訪ねる」

対象：れきはくメイト  
担当：当館学芸員  
講師：当館学芸員・福井県立若狭歴史博物館職員  
参加料：9,500円（入館料・交通傷害保険料・宿泊費・昼食費を含む）  
行程：金沢－福井県立若狭歴史博物館－欄山明通寺－（昼食「ホテルせくみ屋」）－岩屋山妙楽寺－鳳聚山羽賀寺－青葉山中山寺－金沢

☆歴史散歩  
5月15日

「野田寺町寺院散歩」

対象：れきはくメイト  
担当：当館学芸員  
講師：当館学芸員・浄安寺職員・伏見寺職員・立像寺職員・高岸寺職員  
参加料：500円（資料代）  
行程：浄安寺－松月寺－伏見寺－大円寺－立像寺－高岸寺－長久寺

☆歴史散歩  
9月29日

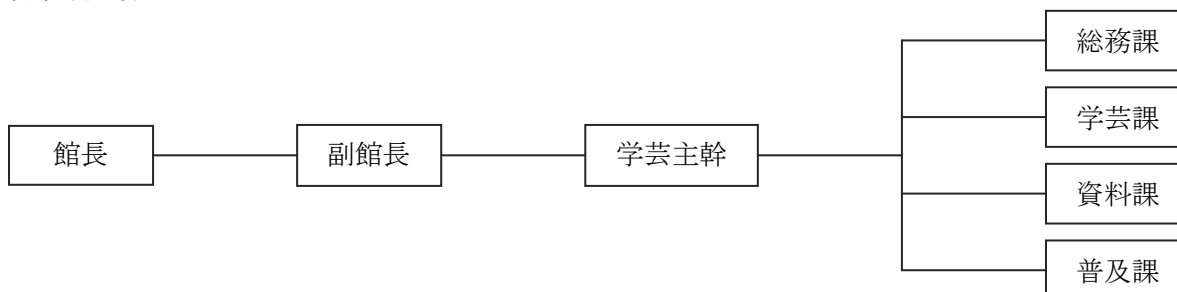
「東山の日蓮宗寺院＋α」

対象：れきはくメイト  
担当：当館学芸員  
講師：当館学芸員・真成寺職員・永久寺職員  
参加料：500円（資料代）  
行程：妙國寺－妙泰寺－全性寺－本光寺－真成寺－永久寺

## Ⅱ. 組織と運営

平成 25 年度

### 1. 職員組織



### 2. 職員名簿

平成 25 年度（平成 25 年 4 月 1 日現在）

館長（非常勤嘱託）	脇田 晴子	<b>学芸課</b>		<b>普及課</b>	
副館長（〃）	新宅 剛	課長（技術）（併）	大門 哲	課長（技術）	前田 武輝
学芸主幹（〃）（技術）	北 春千代	（本務 教育委員会兼 白山ろく民俗資料館）		学芸専門員（〃）	岩島千津代
学芸主幹（技術）	本谷 文雄	学芸主任（〃）	三浦 俊明	（本務 教育委員会）	
学芸主幹（〃）	戸澗 幹夫	学芸主任（〃）	大井 理恵	学芸主任（〃）	塩崎 久代
		非常勤嘱託	曾明久美子	（本務 教育委員会）	
				非常勤嘱託	藻寄亜矢子
<b>総務課</b>		<b>資料課</b>			
課長（事務）	小原 卓	課長（技術）	濱岡 伸也		
主幹（〃）	西村 学	学芸主任（〃）	石田 健		
企画管理専門員（再）	谷口 秀子	（本務 教育委員会兼 石川四高記念文化交流館）			
主査（技術）兼美術館	北 晃	非常勤嘱託	前田 令子		
非常勤嘱託	谷内 優子				

### 3. 予算及び決算

※定数内職員費及び運営費（職員費）を除く。

（単位：千円）

事業名	平成 25 年度		
	当初予算額	最終予算額	決算額
運営費	40,040	34,195	33,649
展示費	3,000	2,250	2,246
調査普及費	17,114	16,882	15,365
整備費	1,600	4,000	3,998
国際交流費	144	144	130
石引分室管理事業費	836	836	721
米泉収蔵庫管理事業費	420	310	210
リニューアル整備費	655,915	652,638	652,626
計	719,069	711,255	708,945

## 4. 事務分掌

平成 25 年度（平成 25 年 4 月 1 日現在）

総 務 課	学 芸 課
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 課内事務の統括に関する事。</li> <li>2 出納事務に関する事。</li> <li>3 諸規定の運営に関する事。</li> <li>4 防犯及び防災計画に関する事。</li> <li>5 運営審議会の連絡調整に関する事。</li> <li>6 他の課に属しない事務に関する事。</li> <li>7 予算・決算に関する事。</li> <li>8 委託等契約事務に関する事。</li> <li>9 財産の維持及び管理に関する事。</li> <li>10 情報政策推進員業務に関する事。</li> <li>11 物品及び収入・支出経理に関する事。</li> <li>12 文書管理事務に関する事。</li> <li>13 公用車の運転及び整備に関する事。</li> <li>14 県庁、分室及び銀行、周辺文化施設等との事務連絡に関する事。</li> <li>15 職員の服務及び給与、旅費等に関する事。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 学芸活動の企画・調整に関する事。</li> <li>2 姉妹館との交流及び協力並びに展示・共同研究に関する事。</li> <li>3 常設展の調整・改善に関する事。</li> <li>4 特別展及び企画展の企画・調整に関する事。</li> <li>5 展示室の視聴覚機械の保守・管理に関する事。</li> <li>6 石川の歴史遺産セミナーに関する事。</li> <li>7 紀要の作成に関する事。</li> <li>8 貸館の企画・調整に関する事。</li> <li>9 寄贈図書等の受入・整理に関する事。</li> <li>10 文化財情報の収集・整理に関する事。</li> <li>11 その他学芸補助に関する事。</li> </ol>
資 料 課	普 及 課
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 資料の調査・受入に関する事。</li> <li>2 資料の保存・修理に関する事。</li> <li>3 資料の複製・模型に関する事。</li> <li>4 資料の貸与及び特別利用に関する事。</li> <li>5 借用資料のとりまとめに関する事。</li> <li>6 収蔵品の保全・管理に関する事。</li> <li>7 コレクション展に関する事。</li> <li>8 運営審議会・資料評価部会に関する事。</li> <li>9 博物館実習に関する事。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 普及事業の企画・調整に関する事。</li> <li>2 学校教育との連携に関する事。</li> <li>3 社会教育機関との連携に関する事。</li> <li>4 県民大学校に関する事。</li> <li>5 ホームページに関する事。</li> <li>6 広報活動の企画・実施に関する事。</li> <li>7 れきはくメイトに関する事。</li> <li>8 入館者の動向調査に関する事。</li> <li>9 ボランティアに関する事。</li> <li>10 年報・館利用案内・年間行事予定の発行に関する事。</li> <li>11 石川れきはく編集・発行に関する事。</li> <li>12 各種印刷物の発送に関する事。</li> </ol>
各 課 共 通	
リニューアルに関する事	

この他、学芸関係職員はそれぞれの専門的分野を通して、関連業務および常設展、企画展、特別展等の企画、運営および特別展に関わる図録等の作成にあたることとする。

## 5. 各種委員会

### (1) 運営審議会

#### 石川県立歴史博物館運営審議会設置要綱

(目的)

第1条 石川県立歴史博物館(以下「博物館」という。)の円滑かつ適正な運営を図るため、石川県立歴史博物館運営審議会(以下「運営審議会」という。)を設置する。

(所掌事項)

第2条 運営審議会は、次に掲げる事項を審議する。

- (1) 博物館の運営に関すること。
- (2) 博物館長の諮問に対する答申。
- (3) 博物館長に対する意見具申に関すること。
- (4) 博物館が取得しようとする資料の学問的及び価格に関すること。
- (5) その他、特に必要と認められること。

(組織)

第3条 運営審議会は、20名以内の委員をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから、教育委員会との協議を経て、知事が委嘱する。

- (1) 社会教育関係者
- (2) 学校教育関係者
- (3) 学識経験者

3 委員は、互選によって会長及び副会長を定める。

4 会長は、議長となり会議を主宰し、会長に事故あるとき又は会長が欠けたときは、副会長がその職務を行う。

(任期)

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠委員の任期は前任者の残任期間とする。

(会議)

第5条 運営審議会の会議は、会長が召集する。

2 運営審議会は、委員の半数以上が出席しなければ会議を開くことができない。

(専門部会)

第6条 運営審議会には、博物館が取得しようとする資料の学問的評価及び価格(以下「資料の評価等」という。)に関し審議する専門部会(以下「資料評価専門部会」という。)を置く。

2 資料評価専門部会に関する必要な事項は、別に定める。

(事務局)

第7条 運営審議会の事務局は博物館において処理する。

(雑則)

第8条 この要綱に定めるもののほか、運営審議会の運営について必要な事項は、別に定める。

附則

この要綱は、平成8年4月1日から施行する。

会議

<第1回> 平成25年11月29日(金)

会場 県立美術館会議室

- 議事 (1) 平成25年度事業の執行状況について  
(2) 平成26年度事業計画について  
(3) 平成25年度購入予定資料について  
(4) リニューアルについて

<第2回> 平成26年3月20日(木)

会場 県立美術館会議室

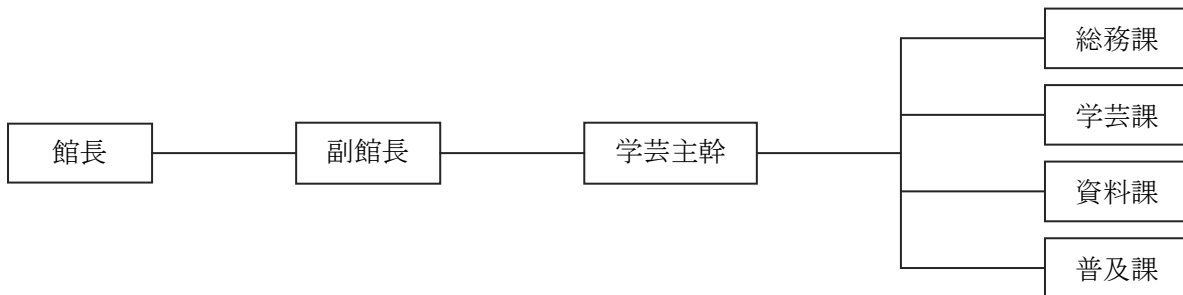
- 議事 (1) 平成25年度事業の執行状況について  
(2) 平成26年度事業計画及び予算について  
(3) リニューアルについて

#### 委員名簿(13名)

氏名	役職	委員の構成	備考
北西 弘	元大谷大学学長	学識経験者	資料評価専門部会員
高澤 裕一	金沢大学名誉教授	〃	資料評価専門部会員
東 澄子	元石川県立美術館学芸主幹	〃	資料評価専門部会員
橋本 澄夫	石川考古学研究会会長	〃	資料評価専門部会員
太田 昌子	元金沢美術工芸大学美術工芸学部教授	〃	
野口 弘	金沢市教育長	〃	
高屋 喜久子	元金沢学院大学美術文化学部情報デザイン科教授	〃	
笠井 純一	金沢大学人間社会研究域歴史言語文化学系教授	〃	資料評価専門部会員
橘 禮吉	加能民俗の会名誉会長	〃	
藤多 典子	石川県婦人団体協議会役員	社会教育関係者	
川岸 典子	石川県小学校長会(内灘町立清湖小学校長)	学校教育関係者	
三 盃 象二郎	石川県中学校長会(金沢市立高尾台中学校長)	〃	
村中 幸子	石川県高等学校長会(県立金沢北陵高等学校長)	〃	

平成 26 年度

1. 職員組織



2. 職員名簿

平成 26 年度（平成 26 年 4 月 1 日現在）

館長（非常勤嘱託）	藤井 讓治	学芸課	普及課
副館長（〃）	新宅 剛	課長（技術）（併）	前田 武輝
学芸主幹（〃）（技術）	北 春千代	（本務 教育委員会兼 白山ろく民俗資料館）	学芸専門員（〃）
学芸主幹（技術）	本谷 文雄	学芸主任（〃）	（本務 教育委員会）
学芸主幹（〃）	戸潤 幹夫	学芸主任（〃）	学芸主任（〃）
		非常勤嘱託	（本務 教育委員会）
			非常勤嘱託
総務課		資料課	
課長（事務）	小原 卓	課長（技術）	濱岡 伸也
主幹（〃）	西村 学	学芸主任（〃）	石田 健
企画管理専門員（再）	谷口 秀子	（本務 教育委員会兼 石川四高記念文化交流館）	
主査（技術）兼美術館	北 晃	非常勤嘱託	森田 祥子
非常勤嘱託	野本 浩美		

3. 予算及び決算

※定数内職員費及び運営費（職員費）を除く。

（単位：千円）

事業名	平成 25 年度		
	当初予算額	最終予算額	決算額
運営費	44,331	39,533	39,503
展示費	7,637	5,066	5,021
調査普及費	17,219	16,786	16,496
整備費	1,600	1,600	1,600
国際交流費	144	144	129
石引分室管理事業費	836	836	835
米泉収蔵庫管理事業費	420	420	420
リニューアル関連費	5,400	5,340	5,224
リニューアル整備費	1,588,994	1,580,971	1,580,251
計	1,666,581	1,650,696	1,649,479

## 4. 事務分掌

平成 26 年度（平成 26 年 4 月 1 日現在）

総 務 課	学 芸 課
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 課内事務の統括に関する事。</li> <li>2 出納事務に関する事。</li> <li>3 諸規定の運営に関する事。</li> <li>4 防犯及び防災計画に関する事。</li> <li>5 運営審議会の連絡調整に関する事。</li> <li>6 他の課に属しない事務に関する事。</li> <li>7 予算・決算に関する事。</li> <li>8 委託等契約事務に関する事。</li> <li>9 財産の維持及び管理に関する事。</li> <li>10 情報政策推進員業務に関する事。</li> <li>11 物品及び収入・支出経理に関する事。</li> <li>12 文書管理事務に関する事。</li> <li>13 公用車の運転及び整備に関する事。</li> <li>14 県庁、分室及び銀行、周辺文化施設等との事務連絡に関する事。</li> <li>15 職員の服務及び給与、旅費等に関する事。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 学芸活動の企画・調整に関する事。</li> <li>2 姉妹館との交流及び協力並びに展示・共同研究に関する事。</li> <li>3 常設展の調整・改善に関する事。</li> <li>4 特別展及び企画展の企画・調整に関する事。</li> <li>5 展示室の視聴覚機械の保守・管理に関する事。</li> <li>6 石川の歴史遺産セミナーに関する事。</li> <li>7 紀要の作成に関する事。</li> <li>8 貸館の企画・調整に関する事。</li> <li>9 寄贈図書等の受入・整理に関する事。</li> <li>10 文化財情報の収集・整理に関する事。</li> <li>11 その他学芸補助に関する事。</li> </ol>
資 料 課	普 及 課
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 資料の調査・受入に関する事。</li> <li>2 資料の保存・修理に関する事。</li> <li>3 資料の複製・模型に関する事。</li> <li>4 資料の貸与及び特別利用に関する事。</li> <li>5 借用資料のとりまとめに関する事。</li> <li>6 収蔵品の保全・管理に関する事。</li> <li>7 コレクション展に関する事。</li> <li>8 運営審議会・資料評価部会に関する事。</li> <li>9 博物館実習に関する事。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 普及事業の企画・調整に関する事。</li> <li>2 学校教育との連携に関する事。</li> <li>3 社会教育機関との連携に関する事。</li> <li>4 県民大学校に関する事。</li> <li>5 ホームページに関する事。</li> <li>6 広報活動の企画・実施に関する事。</li> <li>7 れきはくメイトに関する事。</li> <li>8 入館者の動向調査に関する事。</li> <li>9 ボランティアに関する事。</li> <li>10 年報・館利用案内・年間行事予定の発行に関する事。</li> <li>11 石川れきはく編集・発行に関する事。</li> <li>12 各種印刷物の発送に関する事。</li> </ol>
各 課 共 通	
リニューアルに関する事	

この他、学芸関係職員はそれぞれの専門的分野を通して、関連業務および常設展、企画展、特別展等の企画、運営および特別展に関わる図録等の作成にあたることとする。

## 5. 各種委員会

### (1) 運営審議会

#### 石川県立歴史博物館運営審議会設置要綱

(目的)

第1条 石川県立歴史博物館(以下「博物館」という。)の円滑かつ適正な運営を図るため、石川県立歴史博物館運営審議会(以下「運営審議会」という。)を設置する。

(所掌事項)

第2条 運営審議会は、次に掲げる事項を審議する。

- (1) 博物館の運営に関すること。
- (2) 博物館長の諮問に対する答申。
- (3) 博物館長に対する意見具申に関すること。
- (4) 博物館が取得しようとする資料の学問的及び価格に関すること。
- (5) その他、特に必要と認められること。

(組織)

第3条 運営審議会は、20名以内の委員をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから、教育委員会との協議を経て、知事が委嘱する。

- (1) 社会教育関係者
- (2) 学校教育関係者
- (3) 学識経験者

3 委員は、互選によって会長及び副会長を定める。

4 会長は、議長となり会議を主宰し、会長に事故あるとき又は会長が欠けたときは、副会長がその職務を行う。

(任期)

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠委員の任期は前任者の残任期間とする。

(会議)

第5条 運営審議会の会議は、会長が召集する。

2 運営審議会は、委員の半数以上が出席しなければ会議を開くことができない。

(専門部会)

第6条 運営審議会には、博物館が取得しようとする資料の学問的評価及び価格(以下「資料の評価等」という。)に関し審議する専門部会(以下「資料評価専門部会」という。)を置く。

2 資料評価専門部会に関する必要な事項は、別に定める。

(事務局)

第7条 運営審議会の事務局は博物館において処理する。

(雑則)

第8条 この要綱に定めるもののほか、運営審議会の運営について必要な事項は、別に定める。

附則

この要綱は、平成8年4月1日から施行する。

会議

<第1回> 平成26年11月28日(金)

会場 県立美術館会議室

- 議事 (1) 平成26年度事業の執行状況について  
(2) 平成27年度事業計画について  
(3) リニューアルについて

<第2回> 平成27年3月13日(金)

会場 本館ワークショップルーム

- 議事 (1) 平成26年度事業の執行状況について  
(2) 平成27年度事業計画及び予算について  
(3) リニューアルについて

(平成26年7月1日現在)

#### 委員名簿(13名)

氏名	役職	委員の構成	備考
高澤 裕一	金沢大学名誉教授	学識経験者	資料評価専門部会員
東 澄子	元石川県立美術館学芸主幹	〃	資料評価専門部会員
谷内尾 晋司	石川考古学研究会会長	〃	資料評価専門部会員
東四柳 史明	金沢学院大学特任教授	〃	資料評価専門部会員
太田 昌子	元金沢美術工芸大学美術工芸学部教授	〃	
野口 弘	金沢市教育長	〃	
高屋 喜久子	元金沢学院大学美術文化学部情報デザイン科教授	〃	
笠井 純一	金沢大学人間社会研究域歴史言語文化学系教授	〃	
橘 禮吉	加能民俗の会名誉会長	社会教育関係者	資料評価専門部会員
藤多 典子	石川県婦人団体協議会役員	学校教育関係者	
坂根 順子	石川県小学校長会(金沢市立千坂小学校長)	〃	
越中 修	石川県中学校長会(金沢市立湊中学校長)	〃	
村中 幸子	石川県高等学校長会(県立金沢北陵高等学校長)		

### Ⅲ. 日記（抄）

平成 25（2013）年 4 月 1 日～平成 26（2014）年 3 月 31 日

#### 平成25(2013)年度

- 5月 9日 れきはくメイト春の歴史散歩「城下町金沢の真宗寺院ー小将町・扇町・暁町を歩くー」
- 6月20日 れきはくメイト初夏のバスツアー「円空ゆかりの関を訪ねる」
- 6月21日 れきはくゼミナール①「廻船問屋 海を行く！」
- 6月29日 第18回石川の歴史遺産セミナー「加賀勝示札が語る古代社会」（講師：松原 弘宣 氏、出越 茂和 氏、吉岡 康暢 氏）
- 7月19日 れきはくゼミナール②「古典文学の意匠 ー源氏物語ー」
- 7月20日 リニューアルオープン プレ企画展「大名行列がやってきた！ー優品に見る加賀藩ー」 会場：小松市立博物館（～8.25）
- 7月28日 リニューアルオープン プレ企画展 ギャラリートーク①
- 8月10日 リニューアルオープン プレ企画展 講演会「金平鉦山と十村石黒家」（講師：見瀬 和雄 氏）
- 8月11日 リニューアルオープン プレ企画展 ギャラリートーク②
- 8月16日 れきはくゼミナール③「古墳に見る加賀・能登の古代史」
- 9月 8日 第19回石川の歴史遺産セミナー「一向一揆とは何か ー「百姓ノ持タル国」の実像に迫るー」（講師：安藤 弥 氏、木越 祐馨 氏、塩崎 久代）
- 9月20日 れきはくゼミナール④「金沢の仏像」
- 9月21日 リニューアルオープン プレ企画展「大名行列がやってきた！ー優品に見る加賀藩ー」 会場：石川県七尾美術館（～10.27）  
週末ワークショップ「たいけん！はっけん！江戸時代」（会期中の土・日・祝日）
- 10月 5日 リニューアルオープン プレ企画展 講演会「前田利家と能登七尾」（講師：瀬戸 薫 氏）
- 10月 5日 ミュージアムウィーク体験祭り（～6日）
- 10月10日 れきはくメイト 秋の歴史散歩「金石 まち歩き」
- 10月18日 れきはくゼミナール⑤「『石動山古絵図』を読み解く」
- 10月19日 リニューアルオープン プレ企画展 ギャラリートーク
- 10月30日 れきはくメイト秋のバスツアー「観音の里 湖北」
- 11月 1日 躯体工事開始
- 11月12日 いしかわ県民大学校「歴史講座」①「石川の原始」開講式
- 11月15日 れきはくゼミナール⑥「能登の霊場・高爪山の考古学」
- 11月20日 いしかわ県民大学校「歴史講座」②「石川の古代」
- 11月23日 第20回石川の歴史遺産セミナー「大名庭園の世界 ー兼六園と日本三名園ー」（講師：長山 直治 氏、小野 芳朗 氏、滝川 重徳 氏）
- 11月27日 いしかわ県民大学校「歴史講座」③「石川の中世」
- 11月30日 リニューアルオープン プレ企画展「モダン金沢と映画文化」  
会場：石川四高記念文化交流館内 石川近代文学館（～12.23）  
リニューアルオープン プレ企画展ギャラリートーク①
- 12月4日 いしかわ県民大学校「歴史講座」④「石川の近世」
- 12月11日 いしかわ県民大学校「歴史講座」⑤「石川の絵画史」
- 12月14日 リニューアルオープン プレ企画展ギャラリートーク②（講師：本康 宏史 氏）
- 12月18日 いしかわ県民大学「歴史講座」⑥「古代～近世の文化財」
- 12月20日 れきはくゼミナール⑦「ドジョウ蒲焼き150年史」



れきはくメイト春の歴史散歩



れきはくゼミナール



プレ企画展ワークショップ  
「たいけん！はっけん！江戸時代」



れきはくメイト秋のバスツアー



躯体工事開始



プレ企画展ギャラリートーク



いしかわ県民大学校

#### 平成26(2014)年

- 1月 8日 いしかわ県民大学校「歴史講座」⑦「明治・大正・昭和の石川」
- 1月15日 いしかわ県民大学校「歴史講座」⑧「加賀・能登のことば」
- 1月17日 れきはくゼミナール⑧ 「染織の歴史ー友禅染を中心にー」
- 1月22日 いしかわ県民大学校「歴史講座」⑨「加賀・能登の祭り」
- 1月29日 いしかわ県民大学校「歴史講座」⑩「加賀・能登のくらしと布」閉校式
- 2月21日 れきはくゼミナール⑨「日本、朝鮮半島の古代瓦模様」
- 3月21日 れきはくゼミナール⑩「モダン金沢と大衆文化」



平成26(2014)年度

- 4月26日 リニューアルオープン プレ企画展「大名行列がやってきた！ー加賀藩の歴史と美術ー」会場:羽咋市歴史民俗資料館(～5.25)  
講演会「妙成寺ゆかりの加賀藩の女性たち」(講師:横山 方子 氏)  
週末ワークショップ(会期中の土・日・祝日・GW)
- 4月28日 赤レンガ建物(石川県立歴史博物館・藩老本多蔵品館)愛称募集開始(～6.10)
- 5月10日 リニューアルオープン プレ企画展ギャラリートーク
- 5月15日 れきはくメイト 春の歴史散歩「野田寺町 寺院散策」
- 6月20日 れきはくゼミナール①「古典文学の意匠ー平家物語ー」
- 6月25日 れきはくメイト初夏のバスツアー「清流の城下町 郡上八幡」
- 7月18日 れきはくゼミナール②「玉作りと弥生・古墳社会」
- 7月26日 リニューアルオープン プレ企画展「加賀藩お抱え絵師・佐々木泉景と一門」  
会場:加賀市美術館(～8.31)
- 8月 2日 リニューアルオープン プレ企画展 講演会「佐々木泉景とその一門の画業」  
(講師:北 春千代)
- 8月 9日 リニューアルオープン プレ企画展 ギャラリートーク①
- 8月15日 れきはくゼミナール③「金沢町人宮竹屋の歴史と文化」
- 8月23日 リニューアルオープン プレ企画展 ギャラリートーク②
- 9月 6日 第21回石川の歴史遺産セミナー「加賀の王墓と変革の5世紀」  
(講師:菅原 雄一 氏、阪口 英毅 氏、河村 好光 氏)
- 9月9日 リニューアルオープンPRパネル展  
会場:しいのき迎賓館1階 しいのきプラザ(～9.10)
- 9月19日 れきはくゼミナール④「お代官様は悪人ですか？」
- 9月29日 れきはくメイト秋の歴史散歩「東山の日蓮宗寺院+α」
- 10月 4日 ミュージアムウィーク体験祭り(～5日)
- 10月 9日 工事見学会
- 10月17日 れきはくゼミナール⑤「能登仏像ものがたり」
- 10月20日 リニューアルオープンPRパネル展 会場:県庁19階ロビー(～10.31)
- 10月29日 れきはくメイト秋のバスツアー「若狭の秘仏を訪ねる」
- 11月12日 いしかわ県民大学校①「石川の原始」開講式
- 11月19日 いしかわ県民大学校②「石川の古代」
- 11月21日 れきはくゼミナール⑥「染織の歴史 ー小袖文様とその時代ー」
- 11月26日 いしかわ県民大学校③「中世の文化財 中世編」
- 11月29日 第22回石川の歴史遺産セミナー「百万石の治世と加賀八家」  
(講師:木越 隆三 氏、石野 友康 氏、三宅 正浩 氏)
- 12月 3日 いしかわ県民大学校④「石川の中世」
- 12月10日 いしかわ県民大学校⑤「石川の近世」
- 12月17日 いしかわ県民大学校⑥「石川の近世絵画」
- 12月19日 れきはくゼミナール⑦「オカルト都市金沢 ー男と女の情念文化ー」
- 12月24日 いしかわ県民大学校⑦「明治・大正・昭和の石川」



プレ企画展ギャラリートーク



れきはくメイト春の歴史散歩



れきはくメイト初夏のバスツアー



工事見学会



リニューアルオープンPRパネル展



いしかわ県民大学



れきはくメイト秋のバスツアー

平成27(2015)年

- 1月 7日 いしかわ県民大学校⑧「加賀・能登のことば」
- 1月14日 いしかわ県民大学校⑨「加賀・能登のまつり」
- 1月16日 れきはくゼミナール⑧「海道の絵馬を読む」
- 1月21日 いしかわ県民大学校⑩  
「加賀・能登のくらし布 ー人生儀礼を中心にー」閉校式
- 2月20日 れきはくゼミナール⑨  
「いしかわ歴博の近現代展示～映像・レプリカ・原寸復元～」
- 3月20日 れきはくゼミナール⑩「縄文犬を知っていますか？」

参考資料

## 歴史博物館リニューアル基本構想

平成23年3月

石川県

# 目 次

1	沿 革	43
2	基本理念	43
3	現状及び背景	43
4	解決すべき課題	43
	(1) 展示室の分散等	43
	(2) 古い展示手法	43
	(3) 憩いスペースの不足と入館者サービスの不足	43
	(4) バリアフリー対策等の不備	43
	(5) 利用者への情報提供の不足	44
	(6) 設備の老朽化	44
	(7) 収蔵庫の分散・不足	44
	(8) 国指定重要文化財との共存	44
5	リニューアルの考え方	44
	(1) 基本方針	44
	(2) 誰もが楽しく学べる博物館	44
	(3) ゆったりくつろげ、交流を育む博物館	44
	(4) 人にやさしい博物館	45
6	展示計画	45
	(1) 基本方針	45
	(2) 展示の構成	45
	(3) 常設展示の視点	45
	(4) 常設展示の手法	46
	(5) 常設展示の展開	46
	(6) 企画展示の展開	47
7	施設整備計画	47
	(1) 基本方針	47
	(2) 施設の配置計画	47
	(3) 平面及び動線イメージ	50
8	事業活動計画	51
	(1) 基本方針	51
	(2) 資料収集・保管活動	51
	(3) 調査研究活動	51
	(4) 展示活動	51
	(5) 教育・普及活動	52
	(6) 情報提供活動	52
	(7) 利用者サービス活動	53
9	管理運営計画	54
	(1) 基本方針	54
	(2) 運営形態	54
	(3) 組織の運営	55
10	整備スケジュール	55
	<参考資料>	56
	1 歴史博物館リニューアル検討委員会委員名簿	57
	2 歴史博物館リニューアル検討委員会設置要綱	57
	3 歴史博物館リニューアル検討委員会開催経緯	58
	4 現在の歴史博物館（配置図）	59

## 1 沿革

歴史博物館は、明治42(1909)年、大正2(1913)年、大正3(1914)年に旧陸軍兵器庫として建築された3棟からなり、戦後は昭和47(1972)年まで金沢美術工芸大学の校舎として使用されていたが、大学の移転を機に県が取得し、県立郷土資料館が手狭になったこともあり、歴史博物館として復元・保存工事が行われ、昭和61年10月に第1棟と第2棟が開館、平成2年10月に第3棟が開館し、現在に至っている。

平成2年9月に国指定重要文化財となった。

## 2 基本理念

歴史博物館は、開館当初の基本理念として次の4つを掲げ、活動してきた。

- ① ふるさと石川を中心とした歴史と文化を正しく理解し、その継承と発展に資する学習の場とする。
- ② 日本海沿岸地域における石川の歴史と文化に関連する資料を重点的体系的に収集保管・調査研究、公開展示し、あわせてこれらについての情報を提供する。
- ③ 普及活動の強化を図り、特に学校との連携を強め「学習の場としての博物館」とする。
- ④ 生涯学習の場として、広く県民に活用され参加できる「開かれた博物館」とする。

## 3 現状及び背景

歴史博物館は、昭和61年の開館から24年が経過し、利用者ニーズの変化とともに、施設の老朽化やバリアフリー対策の不備、展示物をガラス越しで観覧するという古い展示手法や展示の固定化等により、近年入館者数が減少傾向にあり、歴史博物館の利活用を図り、いかにして多くの方々に来館していただくかが大きな課題となっている。

このため、固定的な常設展示を見直すとともに、常に新鮮で魅力ある企画展の開催をめざし、展示空間の全面的なリニューアルとそれに応じた来館者サービスの向上や各種事業活動の充実を図っていく必要がある。

## 4 解決すべき課題

### (1) 展示室の分散等

- ・常設展示室と特別展示室が各棟に分散し混在している
- ・特別展示室が狭いため、大規模な巡回展や貸館利用に十分対応できない

### (2) 古い展示手法

- ・ガラス越しの資料対峙型展示(見るだけの展示)となっている
- ・展示内容が固定化している

### (3) 憩いスペースの不足と入館者サービスの不足

- ・エントランスホールがないため、入口が混雑するほか、受付で入館料を支払わないと休憩コーナーやミュージアムショップの利用ができない
- ・憩いのスペース、多目的に利用できる空間が不足している
- ・ミュージアムショップの品数が少ない
- ・飲食サービスは、休憩コーナーに自動販売機1台が設置されているだけである

### (4) バリアフリー対策等の不備

- ・来館者用エレベーターや多目的トイレがない
- ・ユニバーサルデザインへの対応が不十分である
  - (例)・案内板等 → 日本語のみ
  - ・展示品の解説 → 日本語のみ

(5) **利用者への情報提供の不足**

- ・ 収蔵資料が手軽に閲覧できない  
（収蔵資料のデータベース化、閲覧のIT化等がなされていない）
- ・ 県内の歴史文化遺産のガイドンス(案内)機能が不足している

(6) **設備の老朽化**

- ・ 電気設備、給排水衛生設備、空調設備等が老朽化している

(7) **収蔵庫の分散・不足**

- ・ 約 17 万点の資料を本館及び外部収蔵庫(4箇所)に分散して保管している
- ・ 将来に向けた収蔵スペースの確保が必要である

(8) **国指定重要文化財との共存**

- ・ 国指定重要文化財としての建物の良好な保存を図りながら、その魅力を活かした利活用を図っていく必要がある

## 5 リニューアルの考え方

(1) **基本方針**

石川の歴史と文化を正しく、楽しく学習する拠点施設としての機能を充実するとともに、より多くの県民の方々や観光客に訪れていただけるよう、国指定重要文化財としての建物の魅力や本多の森公園の立地環境を活かしながら、周辺施設と連携協力し、親しみやすく利用しやすい博物館とする。

(2) **誰もが楽しく学べる博物館**

訪れるたびに新鮮な驚きと発見・感動があり、楽しく学ぶとともに、探究心を育む博物館をめざす。

- ① 利用者の利便性に配慮した展示室の配置
  - ・ 3棟に分散している展示室を第1棟に集約
- ② 展示の全面リニューアル
  - ア 県民・観光客に石川の魅力を伝える
  - イ 小中学生が楽しく学ぶ
    - ・ 親しみやすく興味を引くわかりやすい展示
    - ・ 見て、ふれて、楽しく体感できる展示
- ③ 展示内容を定期的に更新（企画展示室を設置）
  - ・ 博物館が有する優品やコレクションの展示

(3) **ゆったりくつろげ、交流を育む博物館**

フリーゾーンを新設し、誰もが気軽に立ち寄り、本多の森公園の緑や国指定重要文化財の赤レンガ建物がもつ落ち着いた雰囲気なかで、ゆったりとくつろぎ、さまざまな交流が生まれる博物館をめざす。

- ① 憩い・交流スペースの設置
  - 利用者がかつろぎ、交流できる空間の設置
    - ・ 休憩、飲食スペースの設置
    - ・ ミュージアムショップの充実
    - ・ ミニギャラリースペースの設置
    - ・ 庭園の整備
    - ・ 回遊性を高める導線の整備
- ② 情報提供の向上
  - 歴史博物館の案内情報に加えて、県内の歴史遺産、文化遺産、歴史・民俗系博物館の情報提供
    - ・ 石川の歴史ガイドンスコーナーの設置
    - ・ 総合案内・催事案内の充実
    - ・ 歴史博物館建物紹介コーナーの設置

③ 学習活動支援機能の充実

学校教育や生涯学習に対する支援の充実

- ・講演会や各種行事、学校団体の集合、体験学習等のための多目的ホールの設置
- ・資料閲覧や学習相談のための情報コーナーの設置
- ・ワークショップスペースの設置

(4) 人にやさしい博物館

さまざまな人々が快適に利用できる博物館、石川の歴史や文化に関する資料を大切に保管し、未来へと伝える博物館をめざす。

① 施設のバリアフリー・ユニバーサル化

- ・エレベーター等の設置によるバリアフリー化
- ・ユニバーサルデザインの導入
- ・空調等設備機器の更新

② 収蔵機能の充実

- ・外部収蔵庫の確保
- ・収蔵資料のデータベース化
- ・資料搬入路確保の検討 等

## 6 展示計画

(1) 基本方針

石川の歴史や文化を、さまざまな視点や機能による展示手法で、わかりやすく展開する。また、常に新鮮さと柔軟性を失うことのない展示に心がけるとともに、そのデザインや演出方法・技術にも留意する。なお、第3棟の半分程度を使用する藩老本多蔵品館との連携も図る。

(2) 展示の構成

① 常設展示

常設展示室において「石川の歴史と文化」をテーマにした総合展示を行う。原始から近現代にいたる歴史を総括的に見せるといった展示ではなく、石川の生い立ちを象徴的なテーマで概観する「歴史展示」と、加賀や能登の風土に根ざした個性あふれるくらしを紹介する「民俗展示」で構成する。

展示は、石川の歴史をストーリー性豊かに伝えるとともに、模型や映像、IT機器の活用、体感型展示等、インパクトがあり誰もが楽しく学べるものとする。

また、長期にわたり展示が固定化することのないよう展示資料の更新に努める。

② **新** 企画展示

企画展示室において、何時来ても新鮮で魅力的な展示を基本に、博物館が誇る優品やコレクションの展示をはじめ、常設展示を補うテーマ性の高い展示を行い、定期的に更新する。

なお、計画的に展示プランを作成し展開する。

③ 特別展示

特別展示室において、石川の歴史と文化を特定のテーマで紹介する自主企画展示を実施する。さらに話題性のある魅力的な大型展示を積極的に誘致し、幅広いテーマの展示を行う。

大規模展示では必要に応じて企画展示室を特別展示のスペースとして活用する。

④ 屋外展示

赤レンガ建物に付随する国指定重要文化財である旧陸軍兵器庫通用門門柱等を整備し展示する。また、周辺の景観と調和のとれたモニュメント等も適切に配置する。

(3) 常設展示の視点

① 石川の歴史的特色・風土を伝える

石川の通史を基本として、歴史的に重要な話題や人々の営みを形作ってきた風土を象徴的に展示し、観光ニーズにも対応できる展示とする。

- ② 最新の学術成果を取り入れる  
積み重ねてきた研究成果を検証し、新しい情報を更新しながらわかりやすく伝える。
- ③ 国際的な視野に立つ  
加賀・能登の歴史を通じて、東アジアを含む環日本海諸地域へ興味と関心の広がる展示とする。
- ④ 歴史を未来に活かす  
身近な歴史や文化遺産、風土が地域の魅力や活力の向上等の地域未来の創造に役立つメッセージとなるような展示とする。

#### (4) 常設展示の手法

- ① 「見どころ」を浮かび上がらせる  
石川の歴史、民俗を基本としながら、その時代を特徴づけるできごとを象徴的に展示し、見どころを際立たせる。
- ② 誰もが「わかりやすく・楽しく」学ぶ  
複元模型や映像など五感で感じる体感型展示、資料にふれてみる展示や最新の展示手法を用いて利用者をひきつける展示等、わかりやすく、かつ楽しく学べる展示を行う。
- ③ 多様な情報を提供する  
情報機器も活用し、簡単な情報（解説）から詳しい情報（解説）まで、来館者が楽しみながら選択できるように、多様なニーズに対応できる展示を行う。
- ④ 展示デザインを工夫する  
魅力ある展示を実現するために、展示デザインの表現や技術を工夫する。また、柔軟で弾力的な展示になるよう配慮する。

#### (5) 常設展示の展開

常設展示は、「石川の歴史と文化」をテーマとし、原始から現代にいたる石川の歴史と民俗を象徴的に展開する。

##### (展示項目想定・歴史)

1 原始 ・豊かな自然と狩猟採集文化 ・縄文人の暮らしと祈り ・米づくりと農耕社会の成立	2 古代 ・越のクニ誕生 ・環日本海交流と東アジア ・能登・加賀の立国と勝示札
3 中世 ・源平争乱と北国武士団 ・一向一揆の時代	4 近世 ・加賀百万石の政治と文化 ・加賀藩政の確立 ・加賀藩政の動揺 ・幕末の変革 等
5 近代 ・石川県の誕生 ・日清・日露戦争と郷土 ・石川の大正デモクラシー ・戦争の時代と民衆	6 現代 ・復興の日々 ・高度経済成長 ・昭和の暮らし

##### (展示項目想定・民俗)

7 民俗 テーマ「いしかわの暮らしを旅する」 ・祝い（年中行事） ・祭礼と芸能 ・仕事と稼ぎ（生業）
---

## (6) 企画展示の展開（展示内容を定期的に更新）

- ・ 博物館が有する優品やコレクションの展示  
（例）金沢城下図屏風、甲冑コレクション、北前船関係資料、めがねコレクション 等

## 7 施設整備計画

### (1) 基本方針

歴史博物館開館当初の4つの基本理念を守りつつ、リニューアルにあたっては、「5 リニューアルの考え方」ならびに「6 展示計画」を踏まえ、次の基本方針により整備する。

- ① 歴史的建造物の魅力を活かす  
国指定重要文化財となっている赤レンガ建物の構造や景観を保全し、その特色を活かした空間利用を図り、歴史的建造物の魅力を体感できるようにする。
  - ・ 施設周辺の整備（中庭にガラス張り休憩スペース、庭園、園路新設）
  - ・ 旧陸軍兵器庫時代の柱や梁、レンガ造基礎の展示（第2棟1階（既設））
- ② 本多の森公園周辺の各施設との連携
  - ・ 本多の森公園周辺の各施設と一体となって、にぎわいの創出を図る。
- ③ 利用者の視点にたった空間計画  
常設展示と特別展示の混在を解消する等、各棟に分散する機能の一体化を図り、誰でも使いやすく博物館機能が高まる施設計画を行う。また、バリアフリーの不備を解消し、安全で快適な人と物にやさしい博物館とする。
  - ・ 展示室を第1棟に集約
  - ・ 第1棟に利用者用エレベーターの設置 等
- ④ 自由に入れる交流スペース  
誰もが無料で気軽に立ち寄ることができるミュージアムショップや休憩・飲食スペース等を設け、快適な憩い空間として、人々が集う活気ある交流の場とする。  
また、多目的ホールを設け、講演会やミニコンサート等にも広く活用できる生涯学習支援の場とする。
- ⑤ 多方面からのアクセス  
複数の出入口を設け、多方面からのアプローチと施設周辺の回遊性を高める。
- ⑥ 特別展示室の拡充  
魅力的な大規模巡回展示等が開催できるスペースを確保する。
- ⑦ 藩老本多蔵品館との連携  
第3棟の半分程度を使用する藩老本多蔵品館との連携を図る。
- ⑧ 収蔵スペースの確保  
分散保管している資料が一元管理できる、安全で保管に適した外部収蔵庫を確保する。
- ⑨ 老朽設備の更新  
24年経過し老朽化した設備機器の更新を図る。
  - ・ 電気設備、給排水衛生設備、空調設備等の更新

### (2) 施設の配置計画

博物館機能を十分に発揮し、かつ円滑な事業運営を実践していくため、下記のとおり各施設(設備)を配置する。

#### ① 展示ゾーン

第1棟を展示ゾーンとし、1階に常設展示室、2階に企画展示室と特別展示室、展示準備室を設ける。

##### ア 常設展示室

「石川の歴史と文化」をテーマにした総合展示を基本とし、壁面ケースと移動式ケース、展示台、模型等を使用して展開する。

##### イ **新** 企画展示室

歴史博物館が誇る優品やコレクション、さらには常設展を補うテーマ性の高い内容を定期的に更新しながら展示する。また、展示規模・内容によって可動間仕切りで自由に仕切り特別展示室や貸



館としても利用出来るものとする。

ウ **新** 特別展示室

自主企画展示のほか、話題性のある魅力的な大型展示を積極的に誘致する。

壁面ケースと移動式ケース、展示台の使用を基本とし、展示内容や規模によってパーテーションで自由に仕切れる可変展示室とする。また、国指定重要文化財の公開展示にも対応可能なものとする。

エ **新** 展示準備室

展示ケースや展示台、展示機器等を収蔵するとともに、荷解き等展覧会のさまざまな準備作業を行う部屋とする。

オ **新** 資料搬入路

建物後方に貨物車両（4トントラック）の出入りが可能な資料専用の搬入・搬出ルートの確保を検討する。

② フリーゾーン（1階）

第2棟1階の建物西側（美術館側）、及び第1棟と第2棟の間の渡り廊下の拡張部分をフリーゾーンとし、次の機能を設け、来館者のサービス提供を行う。

ア **新** エントランス

来館者を迎える開放的な空間とする。旧陸軍兵器庫時代の柱や梁、木造床組、レンガ造基礎等の建物の魅力を活かした空間とする。また、博物館のイベント等に関する情報を事前にお知らせするほか、児童生徒の集合場所としても活用し、風除室やトイレ、ロッカー等を設ける。

イ **新** 石川の歴史ガイドダンスコーナー

歴史博物館の見学の動機づけとなる石川の歴史・文化の魅力、見どころの紹介を行うとともに、県内市町等の歴史・民俗系博物館の紹介も行う。

ウ 受付・総合案内

来館者の受付や館内案内、入館料徴収等を行う。

エ **新** ミュージアムショップ

歴史博物館のオリジナル商品や県内博物館の刊行物等を販売する。

オ **新** 休憩・飲食スペース

飲食等を提供し気軽にくつろげる憩いの場とし、外部からの出入りも自由にする。

カ 救護・乳児室（授乳室）

救護室や授乳室として活用する。

キ **新** ボランティア・ルーム

歴史博物館の活動を支援するボランティアの自習的学習や休息に活用する。

ク **新** 多目的トイレ

車イス、オストメイト（人工肛門保有者）、幼児連れ来館者等に対応できる付帯設備を備えたトイレを設置する。

ケ **新** 中庭庭園

第1棟と第2棟の中庭（NTT側）を、赤レンガ建物にマッチした庭園を整備し、館内外から建物の回遊と鑑賞を出来るようにする。

③ フリーゾーン（2階）

第2棟2階の西側（美術館側）をフリーゾーンとし、次の機能を設け、学習活動の支援等を行う。

ア **新** 多目的ホール

講演会や学習会、映写会、ミニコンサート、各種パフォーマンスの実演等に活用するスペースとし、学校団体の集合や案内場所、体験コーナーとしても活用する。

イ **新** 情報コーナー

歴史博物館が所蔵する約17万点の資料のうち、特に県民のニーズに沿った情報を効果的に提供する。また、閲覧室や学習相談室としても活用する。

ウ **新** ワークショップスペース

年代を問わず、利用者のさまざまなニーズに応じたワークショップ等を実施する。

④ 管理ゾーン

第2棟1階の東側（NTT側）は管理ゾーンとし、

- ア 館長室
- イ 副館長室
- ウ 事務室
- エ 解説員室
- オ 警備員室
- カ 清掃員室
- キ 機械室
- ク 更衣室
- ケ 書類倉庫
- コ 資材機材倉庫

を設ける。

⑤ 研究・収集保存ゾーン

第2棟2階の東側(N T T側)を研究・収集保存ゾーンとし、

- ア 研究室(調査・研究・企画・データ管理・広報活動)
- イ 図書室
- ウ 写真撮影室(デジタル化作業を含む)
- エ **新**情報整理室(データ整理・編集・保管)
- オ 特別収蔵室(断熱性・気密性に優れ、常温常湿の空調設備を設ける)
- カ 古文書室

を設ける。

⑥ 収蔵ゾーン

第3棟1階・2階の東側(N T T側)を収蔵ゾーンとし、

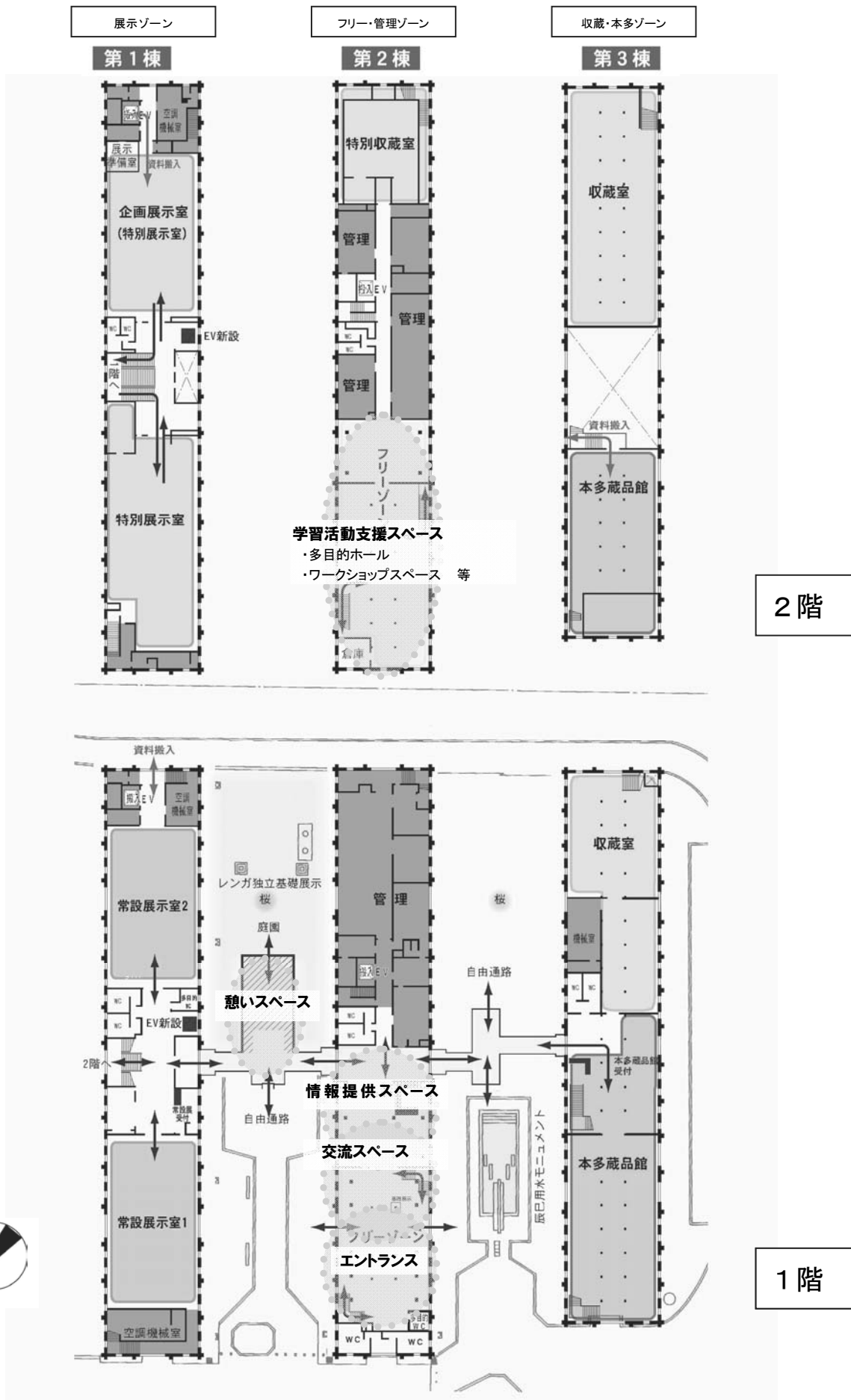
- ア 考古・民俗収蔵室(仮称)
- イ 処理室(収蔵資料の虫害防止のための保存処置等)

を設ける。

⑦ 本多ゾーン

第3棟1階・2階の西側(美術館側)を本多ゾーンとし、藩老本多蔵品館が使用する。

(3) 平面及び動線イメージ



## 8 事業活動計画

### (1) 基本方針

歴史博物館は、開館から 24 年間が経過し、時代の経過とともに利用者のニーズや博物館を取り巻く環境が大きく変化しており、基本理念の実現に向けた新たな取り組みが課題となっている。

リニューアルにあたっては、国指定重要文化財である建物の魅力を活かしながら、展示空間の見直し等石川の歴史と文化を学習する施設としての機能を充実するとともに、より多くの県民や観光客に利用いただくため、常に利用者の視点にたち、従来からの活動内容にとらわれない柔軟な発想でさまざまな活動を積極的に展開していく。

事業活動は大きく、①資料収集・保管活動、②調査研究活動、③展示活動、④教育・普及活動、⑤情報提供活動、⑥利用者サービス活動の 6 つの柱からなる。

なお、展示の企画・広報等は必要により専門家等の意見も参考に実施する。

### (2) 資料収集・保管活動

#### ① 収集と活用

石川の歴史や文化を調査研究し、展示や普及活動等に活用するため、引き続き日本海沿岸地域を中心に、石川の歴史や文化に関わる資料を重点的かつ体系的に収集し、保管する業務を行う。

#### ② 適切な保管

収集した資料を適切に保管するため、収蔵庫の集約を図る。

### (3) 調査研究活動

#### ① 地域文化探求のための調査研究

引き続き、石川県・北陸・環日本海における多様な地域文化を解明するための資料調査ならびに研究を実施する。

#### ② 歴史博物館の活動・運営に関する調査研究

展示手法や学習プログラムの開発、展示評価に対する検討等、博物館活動全般にわたる調査研究に取り組む。

#### ③ 国際交流事業にともなう調査研究

引き続き、大韓民国国立全州博物館と連携して韓国全羅北道ならびに石川県の文化遺産の調査研究を行う。

また、両館が展示手法として力を入れている学習プログラムの理論や手法等の調査、意見交換も引き続き行い、こうした成果をそれぞれの特別展示や企画展示等に活用する。

#### ④ 調査研究の公開・活用

調査研究活動の目的や方法を事前に公開し、県民の理解と関心を得るように努める。

また、調査研究活動の成果をすみやかに特別展示や企画展示、講座・講演会、各種出版物やマスコミ、インターネット等を通じて全国、全世界に発信し石川の歴史の魅力をわかりやすく伝える。

### (4) 展示活動

#### ① 常設展・特別展等における展示活動

常設展示では、石川の生い立ちを象徴する出来事や個性あふれる暮らしぶりを分かりやすく総合的に紹介し、ふるさとの歴史を学ぶ学習支援の環境を整えるとともに、観光ニーズにも対応できる親しみやすい展示に努める。また、企画展示室を設けて、歴史博物館の優品やコレクション等を活用した変化のある展示を定期的に更新して展開するとともに、石川の歴史と文化を多角的な視点で紹介する特別展の開催や話題性のある魅力的な大規模展示を積極的に誘致するなど、常に新しい発見と驚きのある企画展示を提供する。

#### ② 貸館による企画展示

特別展示室やフリーゾーン等を活用し、県民の自主的な文化活動の展示や地域の新たな魅力を発信する資料の紹介等、多岐にわたる展覧会を受け入れ開催する。

③ 藩老本多蔵品館との連携

特別展を関連性のある共通テーマで開催したり、資料・施設を相互利用するなど、相乗効果により入館者増につなげる。

(5) 教育・普及活動

① 展示学習支援

展示は歴史博物館におけるさまざまな出会いや体験の基本となることから、以下のことを実施する。

ア 希望者に対するオリエンテーション（事前案内）、展示内容の説明

イ 展示内容の理解を深める資料や映像、IT機器、音声ガイドシステム等の充実

② 生涯学習支援

利用者の学習意欲を高めるためのさまざまな学習機会を提供するため、以下のことを実施する。

ア 各種講座、講演会、研究会、ワークショップ等の開催

イ 体験プログラムの整備

ウ 関係図書の見本のほか、資料検索等の提供による学習相談の支援

エ 学校や文化施設等への出前講座や移動展示等の実施

オ 県民参画事業（ボランティアや友の会）の促進

カ ④地域の活性化関連事業との連携（市町や地域の商店街等との連携・協力）

③ 学校教育支援

教職員等と連携し、以下のことを実施する。

ア 各種資料の貸し出しや体験指導等の支援

イ 団体利用に関する相談、助言

ウ 教職員向け研修に対する協力

エ 教職員や児童生徒向け事前学習教材または資料の作製

オ キャリアガイダンス（職業指導）による社会人育成への支援

カ 学芸員養成課程の博物館実習による専門職員養成への支援

(6) 情報提供活動

より多くの方々に来館いただき、利用していただくため、積極的な広報活動を展開するとともに、きめ細かな情報を提供するためホームページ等の充実を図り情報発信力を強化する。

情報の内容により、提供の手段を選択しながら、より有効な利用につながるよう工夫する。

また、IT機器の活用に加え、多言語表記にも取り組む。

① 広報活動の積極的展開

各種の出版物や媒体を活用し、以下の広報活動を実施する。

ア マスコミへの情報提供

イ ポスター・チラシの作製配布

ウ テレビスポットCMの放映

エ 各種情報誌への情報掲載

オ ウェブサイト運営の充実(⑧海外向け)

カ 広報誌（石川れきはく）の充実

キ 来館者アンケートの常時実施

ク 学校向け共同セールス（県立美術館・石川近代文学館との共同）の充実

ケ ④観光客誘致活動（県庁関係部局との連携・旅行会社へのPR等）の促進

コ ④高齢者施設へのPRの充実

② 来館者向け

来館者が必要な情報を容易に探すことが出来、取り出せるサービスの充実を図る。

ア ⑧石川の歴史ガイダンスコーナー

石川の歴史との出会いの場として、また、博物館体験をより充実させる導入として、石川の歴史や文化の魅力、見どころをわかりやすく紹介するガイダンス情報を提供する。

また、観光客をはじめ、多くの方が県内の各地域に出向くきっかけとなるよう、周辺施設の情報

や市町の歴史遺産、文化施設等の紹介も行う。

イ **新** 情報コーナー

歴史博物館が収蔵する各種の情報を検索し、閲覧できる情報コーナーを新設する。

ウ **新** 収蔵資料目録の公開と利用

簡単に情報を閲覧できるようにするために、順次、資料目録を整備し、デジタル画像や映像の手段により資料の情報を公開する。

エ **新** ホームページの閲覧

歴史博物館のホームページ閲覧のほか、市町の博物館情報や観光情報が得られるようにする。

オ ポスターやちらしによる市町等の情報の提供

市町等の博物館施設のポスターの掲示やちらしの提供を行う。

③ 外部向け

ホームページやメールマガジン等を利用して、歴史博物館の情報を正確、迅速に発信し、来館の動機づけを行う。

ア ホームページの活用

歴史博物館のホームページの内容を常に更新し、イベント情報の掲示はもちろんのこと、歴史・文化ニュースの紹介や更新情報の表示を行う等、ホームページの利用（アクセス）増を図る。

通常のホームページのほか、モバイル版（携帯）ホームページを充実し、幅広い年齢層を意識した情報提供を行う。

イ **新** 双方向通信の利用

パソコンや携帯から、資料閲覧の申込や各種イベントへの参加申込を可能にすることで、歴史博物館利用者への利便性を高める。

④ 資料の整備・公開

展示していない資料について、段階的、年次的に公開に向けた整備を行う。

ア **新** 館蔵資料のデータベース化

館蔵資料の目録や画像のデジタル化を促進する。

イ 館蔵資料画像の公開

文化財に指定されている資料等、要望の多い資料を中心に細部にわたる画像の公開を行う。

## (7) 利用者サービス活動

① **新** フリーゾーンの設置・活用

来館者がそれぞれの利用目的やニーズに応じて、有意義な時間を過ごしたり、快適に休憩ができるようフリーゾーンを整備し、より充実した利用者サービスを提供する。

また、本多の森公園の利用者も、気軽に立ち寄ってくつろげる場とする。

ア 憩い・交流スペース

・飲食・休憩スペース、ミュージアムショップ（グッズ販売等）、ミニギャラリースペース 等

イ 情報提供スペース

・石川の歴史ガイドコーナー  
・館内の展示等の総合案内  
・催事紹介コーナー  
・歴史博物館建物の紹介コーナー

ウ 学習活動支援スペース

・多目的ホール  
講演会・講習会・学習会・映写会・ミニコンサート・各種パフォーマンスの実演等に活用  
・情報コーナー  
歴史博物館が誇る約 17 万点の資料のうち、とりわけ県民のニーズに沿った情報（実物資料・文献図書・画像・音源等）の提供  
・ワークショップスペース  
来館者のワークショップ等に活用

## ② 誰もが利用しやすい環境づくり

- ア 館内外サインの統一  
デザインを統一し、多言語(日本語・英語・韓国語・中国語(簡体字・繁体字))対応の表記をする。
- イ ユニバーサルデザインの導入(案内標識、段差解消、手すり等)
- ウ インフォメーションとレファレンス(問い合わせ)対応の向上
  - ・受付による通常の案内に加え、インターネットによる情報サービス(受付)を行う。
  - ・学芸員は利用者等に対する展示解説等に積極的に対応する。
- エ 外国人利用者へのサービス
  - ・多言語対応案内ガイドブック
  - ・英語版ウェブサイト
  - ・英語・韓国語等に対応可能な人員の配置を検討(ボランティア等)
  - ・案内板の多言語表記
  - ・展示解説タイトルの多言語表記
  - ・展示キャプション(解説文)の英語等の表記
  - ・多言語音声ガイドの設置
- オ 高齢者・障害者・福祉団体等への利用促進やサービス
  - ・入館料割引や減免の継続実施
  - ・介護福祉施設等に対する案内チラシ等の随時送付
  - ・休憩スペースの設置
  - ・**新**エレベーターの新設
  - ・**新**多目的トイレの新設
  - ・**新**床面の段差解消等

## 9 管理運営計画

### (1) 基本方針

石川の歴史と文化を学習する拠点施設としての機能を十分発揮するとともに、国指定重要文化財である建物の魅力を活かしながら、より多くの県民の方々や観光客に訪れていただける、親しみやすく利用しやすい施設とする。

また、展示計画等については、常に費用に見合う成果を検証し適切な博物館運営を行う。

- ① 利用者のニーズに対応したより開かれた博物館運営  
アンケートの実施等により、利用者とのコミュニケーションを充実し、開かれた博物館運営を行う。
- ② 多様な主体との連携による魅力的な博物館運営  
周辺の文化施設とのより緊密な連携はもとより、県内の博物館施設や市町等の関係機関、大学、小中高校等の教育機関及び地域の文化団体等と連携し、魅力的な博物館運営を行う。
- ③ 広報活動の充実による積極的な博物館運営  
より多くの人に館の活動や展覧会等の事業を周知するために、積極的に広報媒体の活用を図り、広報活動の充実による積極的な博物館運営を行う。

### (2) 運営形態

県民や観光客に親しみやすく利用しやすい施設となる運営を行うため、各業務の運営形態については、下記を基本に検討する。

- ① 基幹的な業務(調査研究・資料収集保存・展示・教育普及・広報) . . . . . 直営
- ② 施設維持管理業務(清掃、警備、機械設備の保守・点検等) . . . . . 委託
- ③ 受付・案内・解説業務 . . . . . 委託
- ④ **新**ミュージアムショップ・飲食施設の業務 . . . . . 委託

### (3) 組織の運営

- ① 石川の歴史と文化を学習する拠点施設の実現に向け、専門家や関係機関等と連携した博物館運営
- ② 県民参画等による博物館運営
  - ア **拡** ボランティアの活用  
歴史博物館の各種の活動をサポートしてもらうため、より広くボランティアを募り、来館者との交流を促進する。
  - イ **拡** 「友の会(れきはくメイト)」の充実  
県民参画の博物館活動を展開するため、「友の会」会員の拡大を図る。
  - ウ 運営審議会  
運営審議会を歴史博物館の諮問機関として位置づけ、館の運営について適切な指導・助言を得る。

## 10 整備スケジュール

平成 26 年度のリニューアルオープンを予定している。



< 参 考 資 料 >

- 1 歴史博物館リニューアル検討委員会委員名簿
- 2 歴史博物館リニューアル検討委員会設置要綱
- 3 歴史博物館リニューアル検討委員会開催経緯
- 4 現在の歴史博物館（配置図）
- 5 歴史博物館リニューアル整備スケジュール

## 参考資料 1 歴史博物館リニューアル検討委員会委員名簿

	氏名	役職
委員長	川上 光彦	金沢大学理工研究域教授
	大場 美吉	金沢学院大学美術文化学部教授 (株)パルデザイングループ代表取締役
	梶本 晃司	石川県観光連盟アドバイザー (株)梶本晃司事務所代表取締役
	角谷 修	金沢美術工芸大学美術工芸学部教授
	小林 忠雄	北陸大学未来創造学部教授
	萩原 扶未子	(株)ジーアンドエス代表取締役
	畠中 君子	台湾誘客コーディネーター
	東四柳 史明	金沢学院大学美術文化学部教授
	谷内尾 晋司	石川考古学研究会会長
	岩本 弘子	石川県教育次長兼学校指導課長
	三国 栄	石川県県民文化局長
	脇田 晴子	石川県立歴史博物館長

12名

## 参考資料 2 歴史博物館リニューアル検討委員会設置要綱

### (趣旨)

第1条 この要綱は、歴史博物館リニューアル検討委員会（以下「委員会」という。）の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

### (目的)

第2条 委員会は、歴史博物館のリニューアルに関する基本構想について検討することを目的とする。

### (検討事項)

第3条 委員会は、前条に定める目的を達成するため、次に掲げる事項について検討を行う。

- (1) 基本構想に関すること。
- (2) その他館の活性化に関すること。

### (組織)

第4条 委員会は、別表に掲げる委員をもって組織する。

- 2 委員会に委員長を置き、委員の互選によってこれを定める。
- 3 委員長は、会務を総理する。

### (任期)

第5条 委員の任期は、第2条に掲げる目的を達成するために必要な期間とする。

### (会議)

第6条 委員会の会議は、委員長が召集し、その会議の議長となる。

- 2 委員長は、必要があると認めるときは、委員会の会議に関係者の出席を求め、説明又は意見を聞くことができる。

(アドバイザー)

第7条 委員会は、必要に応じアドバイザーを置くことができる。

(事務局)

第8条 委員会の事務は、石川県県民文化局文化振興課において処理する。

(雑則)

第9条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が定める。

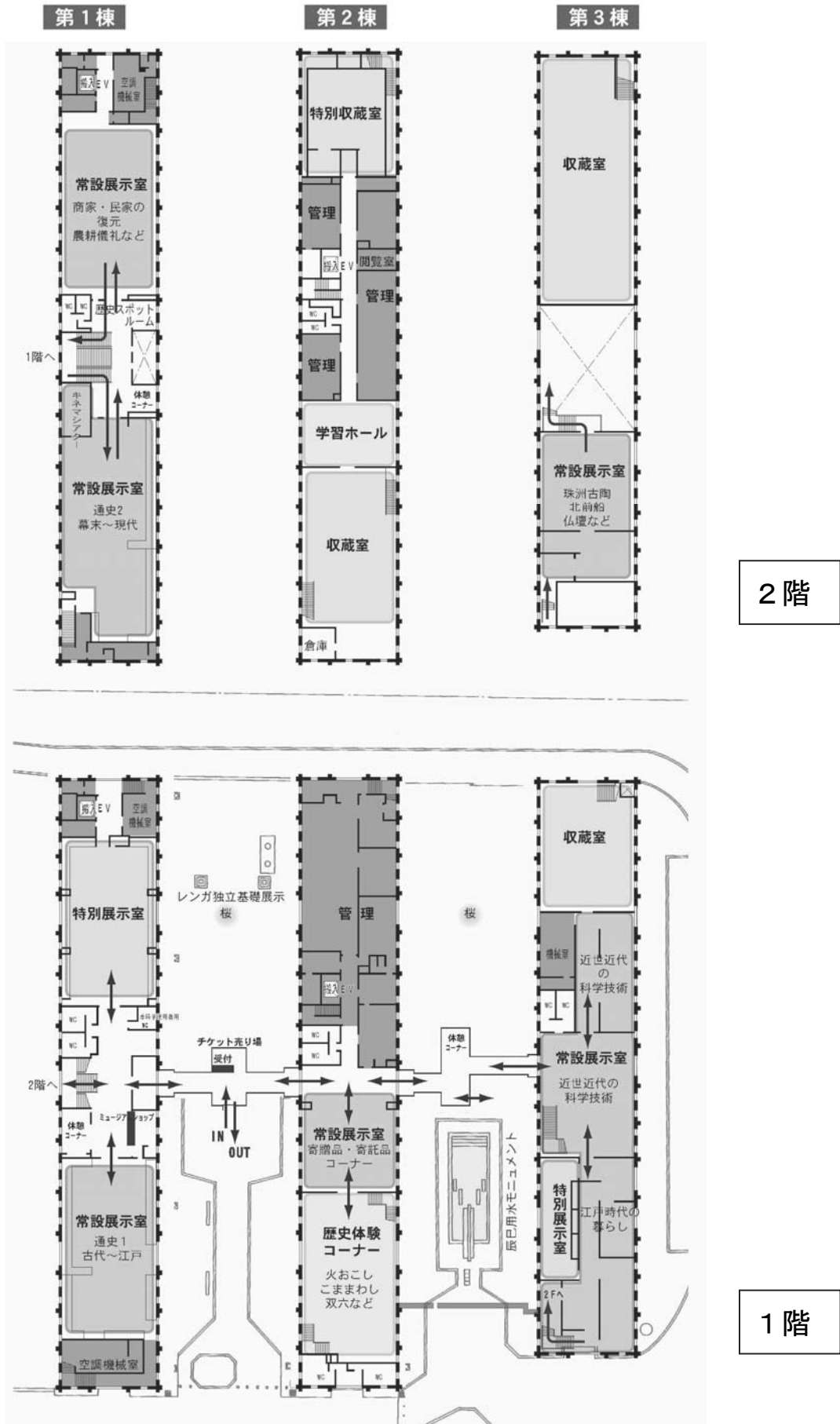
附 則

この要綱は、平成22年10月4日から施行する。

### 参考資料3 歴史博物館リニューアル検討委員会開催経緯

区分	開催時期	検討内容
第1回	平成22年10月4日	・歴史博物館の現地視察 ・歴史博物館の概要について
第2回	平成22年11月12日	・ゾーニングについて
第3回	平成22年12月21日	・展示の基本的な考え方について ・フリーゾーンの活用策について
第4回	平成23年2月14日	・基本構想(案)について

参考資料 4 現在の歴史博物館（配置図）



参考資料5 歴史博物館リニューアル整備スケジュール

年度 区分	24年度												25年度												26年度												27年度											
	2012	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	2014	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	2015	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	2016	1	2	3					
歴史博物館	●第3棟閉鎖 9/12～												●休憩 3/1～												●内見会 ●特別展(夏) ●特別展(春) ●特別展(秋)																							
展示工事	資料整理、梱包、移動、引越												開館準備												引越 列品																							
建築・設備工事 （空調、電気設備等）	実施設計												業者選定 仮契約												現場での製作等												現場設置											
外壁工事	実施設計												業者選定												業者選定												業者選定											
外構工事 （周辺整備、園路整備等）	基本設計												実施設計												業者選定												業者選定											
運営面の課題 ・管理費用負担 ・入館料、休館日 ・ボランティアなど	課題局内整理												当初予算要求												業者選定 愛称募集												業者選定 愛称選定											

◆基本設計	◆実施設計	◆工事
展示：(株)丹青社 24,948千円 建築：(株)廣瀬与志雄建築設計事務所 4,998千円 設備：(株)山岸設備設計事務所 4,599千円 外壁：(公財)文化財建造物保存技術協会 8,421千円 外構：(株)東洋設計(平成24年度) 3,780千円	展示：(株)丹青社 24,150千円 建築：(株)長村建築事務所 7,161千円 設備：(株)山岸設備設計事務所 12,075千円 外壁：―― 外構：(株)東洋設計 4,305千円	展示：(株)丹青社 842,100千円 建築その1：(組)和泉建設JV 238,236千円 建築その2：長坂組・ムラジ建設JV 217,140千円 電気その1：北陸電設(株) 48,668千円 電気その2：米沢電気工事(株) 80,850千円 電気その3：(株)大地電業所 29,589千円 外壁：(株)丹青社 80,147千円
空調その1：鈴木管工・テクノプレーンJV 127,282千円 空調その2：アムズ・北義設備JV 180,422千円 空調その3：みなみ設備工業(株) 86,520千円 給排水衛生その1：松村物産(株) 20,088千円 給排水衛生その2：北陸東和冷暖房(株) 37,275千円 給排水衛生その3：(株)福森設備 15,228千円 自家発電設備：ツボ電気工事(株) 28,188千円	●オープン日：愛称発表 ●使用料条例議案提出 ●管理規則改正	4月17日 リニューアルオープン

石川県立歴史博物館 年報  
第17号 平成25・26年度版  
平成29年3月31日発行

発行 石川県立歴史博物館  
〒920-0963  
石川県金沢市出羽町3番1号  
TEL (076) 262-3236  
印刷 前田印刷株式会社



石川県立歴史博物館